

第2部

リファレンス編

第4章	設定ページリファレンス	137
第5章	活用例（アナログ設定）.....	243
第6章	活用例（ルータ設定）.....	315
第7章	運用管理とメンテナンス	421

第4章 設定ページリファレンス

4

4

この章では、
本装置で設定できる項目をページごとに紹介します。

かんたん設定（インターネットへISDN接続）	139
かんたん設定（インターネットへフレッツ・ISDN接続）	142
かんたん設定（インターネットへ専用線接続）	145
かんたん設定（オフィスへISDN接続）	147
かんたん設定（オフィスへ専用線接続）	150
かんたん設定（アナログポート）	152
「詳細設定」で設定する	153
詳細設定メニューを表示する	154
回線情報設定	155
LAN 情報設定	159
ルーティング情報設定（LAN 情報）	164
相手情報設定	165
ネットワーク情報設定	167
接続先情報設定	173
ポートルーティング情報設定	180
ルーティング情報設定（ネットワーク情報）	181
IPフィルタリング情報（ネットワーク情報）	182
静的NAT 情報設定	184
不特定相手情報設定	186
IPフィルタリング情報（不特定相手情報）	189

PPP 受諾認証情報	191
装置情報設定	192
パスワード情報設定	197
E メールエージェント情報設定	198
メールチェック情報設定	201
宛先メールアドレス設定	205
条件設定	206
TEL メール情報設定	207
ProxyDNS 情報	210
ProxyDNS 情報設定 (順引き)	212
ProxyDNS 情報設定 (逆引き)	214
ホストデータベース情報	215
ホストデータベース情報設定	217
スケジュール情報	218
月間 / 週間予約設定	220
電話番号変更予約設定	221
マルチTA 情報	222
アナログ共通情報	224
アナログポート1 / 2情報	228
発信規制情報設定 (発信抑止)	234
発信規制情報設定 (発信許可)	235
送出着信番号情報	236
識別着信情報	237
識別着信情報設定 (デフォルト定義)	239
識別着信情報設定 (公衆電話着信)	240
識別着信情報設定 (発信者番号非通知着信)	241
識別着信情報設定	242

かんたん設定（インターネットへISDN接続）

かんたん設定（インターネットへISDN接続）

⚠ 詳細設定で設定した情報は全て無効になります。

[必須設定] **ISDN** 

接続先の電話番号	<input type="text"/>
ユーザ認証ID	<input type="text"/>
ユーザ認証パスワード	<input type="password"/>

[オプション設定] **ISDN** 

SI-R30のIPアドレス	<input type="text" value="192"/> <input type="text" value="168"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="1"/>
ネットマスク	24 (255.255.255.0) 
DNSサーバ	<input checked="" type="checkbox"/> 自動取得 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
接続先の電話番号2	<input type="text"/>
接続先の電話番号3	<input type="text"/>
無通信監視タイマ	60 <input type="text"/> 秒
課金単位時間	<input type="text"/> <input type="text"/> 0 秒
接続ネットワーク名	internet
接続先名	ISP-1
MP	<input type="radio"/> 使用する(手動) <input type="radio"/> 使用する(自動) <input checked="" type="radio"/> 使用しない
テレホーダイ	<input type="radio"/> 使用する(手動) <input type="radio"/> 使用する(自動) <input checked="" type="radio"/> 使用しない
かんたんフィルタ	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない

“かんたん設定”では設定を終了すると、自動的に再起動され、通信を行うことができる状態になります。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

4

[必須設定]

接続先の電話番号

半角数字32桁以内で設定します。-、(、) が区切り文字として使えます。

《指定例》

01-2345-6789

01(2345)6789

ユーザ認証ID

接続先より通知されたIDを半角英数字64文字以内で設定します。

ユーザ認証パスワード

接続先より通知されたパスワードを半角英数字を64文字以内で設定します。

[オプション設定]

Si-R30のIPアドレス/ネットマスク

本装置のIPアドレスとネットマスクを設定します。ただし、既存のネットワークに接続するのでなければ、修正は不要です。

IPアドレスに0.0.0.0を設定すると通信ができなくなります。

DNSサーバ

必要に応じて接続先またはネットワーク管理者に指示されたDNSサーバのIPアドレスを設定します。設定する値はDHCPサーバ機能により広報されます。省略するか0.0.0.0を設定した場合は広報を行いません。また、“自動取得”をチェックする場合は、本装置のIPアドレスをDNSサーバアドレスとして広報します。実際のDNSサーバアドレスは回線接続時に相手システムより取得し、ProxyDNS機能が名前解決を行います。自動取得は相手システムがDNSサーバアドレスの広報機能(RFC1877)をサポートしている場合にだけ使用できます。

接続先の電話番号2/3

マルチダイヤルを行う場合に指定します。記述方法は、接続先の電話番号と同じです。

無通信監視タイマ

ISDN回線の無通信監視タイマを0～3600秒の範囲で設定します。その時間を超えても、通信が行われない場合は、ISDN回線を自動的に切断します。なお、0を設定する場合、自動切断を行いません。

課金単位時間

課金単位時間を0.0～3600.0秒の範囲で指定します。ここで設定する時間は無通信監視による回線切断のときに参照し、同一料金で最大の接続時間を得よう回線切断タイミングを調整します。なお、0を設定する場合、課金単位の調整は行いません。

接続ネットワーク名

ネットワークを識別する名称を半角英数字8文字以内で設定します。

接続先名

接続先を識別する名称を半角英数字8文字以内で設定します。

MP

MP 接続をするかどうかを選択します。“自動”の場合は、データ通信量に応じて適宜増減します。“手動”の場合は「操作メニュー」の「手動チャンネル増加」「手動チャンネル減少」を用いてチャンネルの増減を行います。

テレホーダイ

テレホーダイなどのサービスを利用する場合に回線接続保持機能を使用するかどうかを選択します。“自動”の場合は、毎日夜11:00～翌朝8:00の時間帯は無通信監視タイマによる回線の自動切断を行いません。“手動”の場合は「操作メニュー」の「テレホーダイ設定」「テレホーダイ終了」を用いて開始/終了を行います。“自動”の場合には、必ず装置の時刻を正しく設定してください。

かんたんフィルタ

かんたんフィルタは、通常の使用方法で起こりやすい以下の問題を回避するためのIPフィルタを簡単に設定できます。

Windows NT[®]、Windows[®] 95 などによるMicrosoft Networkを使用している場合、お客様のネットワーク設定によっては、NetBIOS over TCPによって定期的に出されるパケットにより自動発信してしまう場合があります。この問題を回避するために、NetBIOS over TCPが使用するTCPおよびUDPのサービスポートの137から139を遮断するフィルタを設定します。

ping (ICMP echo) などのコマンドにより自動発信してしまう場合があります。この問題を回避するために、ICMPプロトコルによる自動発信を抑止するフィルタを設定します。なお、回線が接続状態にある時にはICMPパケットを通過させます。

syslog、TIME、NTP (SNTP) により自動発信してしまう場合があります。この問題を回避するために、それぞれのプロトコルによる自動発信を抑止するフィルタを設定します。なお、回線が接続状態にある時にはそれぞれのパケットを通過させます。

Windows[®] 2000から本装置を経由してインターネットへ接続する場合、Windows[®] 2000が送信する予期せぬDNSパケットにより動発信してしまう場合があります。この問題を回避するために、ProxyDNS情報に問い合わせタイプがSOA (6)、SRV (33)のDNSパケットを破棄するフィルタ、ホストデータベース情報にIPアドレスが「127.0.0.1」のホスト名は「localhost」を設定します。

かんたん設定 (インターネットへフレッツ・ISDN接続)

かんたん設定(インターネットへフレッツ・ISDN接続)

このページでは、NTT東日本およびNTT西日本の「フレッツ・ISDN」を利用し、インターネットへ接続する設定ができます。

 詳細設定で設定した情報は全て無効になります。

[必須設定] ISDN

接続先の電話番号	<input type="text"/>
ユーザ認証ID	<input type="text"/>
ユーザ認証パスワード	<input type="password"/>

[オプション設定] ISDN

SI-R30のIPアドレス	<input type="text" value="192"/> <input type="text" value="168"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="1"/>
ネットマスク	24 (255.255.255.0) 
DNSサーバ	<input checked="" type="checkbox"/> 自動取得 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
無通信監視タイマ	<input type="radio"/> 使用しない <input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="text" value="300"/> 秒
接続ネットワーク名	<input type="text" value="internet"/>
接続先名	<input type="text" value="ISP-1"/>
かんたんフィルタ	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない

“かんたん設定”では設定を終了すると、自動的に再起動され、通信を行うことができる状態になります。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

[必須設定]

接続先の電話番号

半角数字 32 桁以内で設定します。 -、(、) が区切り文字として使えます。

《指定例》

01-2345-6789

01(2345)6789

ユーザ認証ID

接続先より通知された ID を半角英数字 64 文字以内で設定します。

ユーザ認証パスワード

接続先より通知されたパスワードを半角英数字64文字以内で設定します。

[オプション設定]

Si-R30のIPアドレス/ネットマスク

本装置のIPアドレスとネットマスクを設定します。ただし、既存のネットワークに接続するのでなければ、修正は不要です。

IPアドレスに0.0.0.0を設定すると通信ができなくなります。

DNSサーバ

必要に応じて接続先またはネットワーク管理者に指示されたDNSサーバのIPアドレスを設定します。設定する値はDHCPサーバ機能により広報されます。省略するか0.0.0.0を設定する場合は広報を行いません。また、“自動取得”をチェックする場合は、本装置のIPアドレスをDNSサーバアドレスとして広報します。実際のDNSサーバアドレスは回線接続時に相手システムより取得し、ProxyDNS機能が名前解決を行います。自動取得は相手システムがDNSサーバアドレスの広報機能(RFC1877)をサポートしている場合にだけ使用できます。

無通信監視タイマ

ISDN回線の無通信監視タイマを0～3600秒の範囲で設定します。その時間を超えても、通信が行われない場合は、ISDN回線を自動的に切断します。なお、0を設定する場合、自動切断を行いません。

接続ネットワーク名

ネットワークを識別する名称を半角英数字8文字以内で設定します。

接続先名

接続先を識別する名称を半角英数字8文字以内で設定します。

かんたんフィルタ

かんたんフィルタは、通常の使用方法で起こりやすい以下の問題を回避するためのIPフィルタを簡単に設定できます。

Windows NT[®]、Windows[®] 95などによるMicrosoft Networkを使用している場合、お客様のネットワーク設定によっては、NetBIOS over TCPによって定期的に出されるパケットにより自動発信してしまう場合があります。この問題を回避するために、NetBIOS over TCPが使用するTCPおよびUDPのサービスポートの137から139を遮断するフィルタを設定します。

ping (ICMP echo) などのコマンドにより自動発信してしまう場合があります。この問題を回避するために、ICMPプロトコルによる自動発信を抑止するフィルタを設定します。なお、回線が接続状態にある時にはICMPパケットを通過させます。

syslog、TIME、NTP (SNTP) により自動発信してしまう場合があります。この問題を回避

するために、それぞれのプロトコルによる自動発信を抑止するフィルタを設定します。なお、回線が接続状態にある時にはそれぞれのパケットを通過させます。

Windows[®] 2000から本装置を経由してインターネットへ接続する場合、Windows[®] 2000が送信する予期せぬDNSパケットにより動発信してしまう場合があります。この問題を回避するために、ProxyDNS情報に問い合わせタイプがSOA(6),SRV(33)のDNSパケットを破棄するフィルタ、ホストデータベース情報にIPアドレスが「127.0.0.1」のホスト名は「localhost」を設定します。

かんたん設定（インターネットへ専用線接続）

かんたん設定（インターネットへ専用線接続）

 詳細設定で設定した情報は全て無効になります。

[必須設定] 

Si-R30のIPアドレス	192 . 168 . 1 . 1
ネットマスク	24 (255.255.255.0)
使用する回線速度	<input type="radio"/> 64Kbps <input checked="" type="radio"/> 128Kbps
DNSサーバ	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>

[オプション設定] 

接続ネットワーク名	internet
ドメイン名	<input type="text"/>
アドレス変換	<input checked="" type="radio"/> 使用しない
	<input type="radio"/> マルチNAT
	グローバルアドレス <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
	アドレス個数 <input type="text"/> 個

“かんたん設定”では設定を終了すると、自動的に再起動され、通信を行うことができる状態になります。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

4

[必須設定]

Si-R30 のIPアドレス / ネットマスク

本装置のIPアドレスとネットマスクを設定します。マルチNATを使う場合はローカルなIPアドレス、使わない場合はプロバイダから割り当てられたIPアドレスを設定します。

IPアドレスに0.0.0.0を設定すると通信ができなくなります。

使用する回線速度

使用する回線速度をチェックします。

DNSサーバ

接続先またはネットワーク管理者に指示されたDNSサーバのIPアドレスを設定します。設定する値はDHCPサーバ機能により広報されます。0.0.0.0を設定する場合は広報を行いません。

[オプション設定]

接続ネットワーク名

ネットワークを識別する名称を半角英数字8文字以内で設定します。

ドメイン名

必要に応じて接続先またはネットワーク管理者に指示されたドメイン名を半角英数字80文字以内で設定します。省略する場合は、DHCP サーバによる広報を行いません。

アドレス変換

マルチ NAT を使うとプロバイダから取得している IP アドレス個数以上の端末を使用できません。使用する場合は“マルチ NAT”をチェックします。WAN 側に固定のアドレスを1つまたは複数持っている場合は、“グローバルアドレス”と“アドレス個数”も指定します。“アドレス個数”は1～16の範囲で指定できます。“グローバルアドレス”を先頭とする“アドレス個数”分のアドレスが本装置の WAN IP アドレスとなります。

かんたん設定（オフィスへISDN接続）

かんたん設定（オフィスへISDN接続）

⚠ 詳細設定で設定した情報は全て無効になります。

[必須設定] **ISDN** 

接続先の電話番号	<input type="text"/>
ユーザ認証ID(発信)	<input type="text"/>
ユーザ認証パスワード(発信)	<input type="text"/>
ユーザ認証ID(着信)	<input type="text"/>
ユーザ認証パスワード(着信)	<input type="text"/>
SI-R30のIPアドレス	<input type="text" value="192"/> <input type="text" value="168"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="1"/>
SI-R30のネットマスク	<input type="text" value="24 (255.255.255.0)"/>
相手ルータのIPアドレス	<input type="text" value="192"/> <input type="text" value="168"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="1"/>
相手ルータのネットマスク	<input type="text" value="24 (255.255.255.0)"/>

[オプション設定] **ISDN** 

DHCPサーバ機能	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する DNSサーバ広報 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
無通信監視タイム	<input type="text" value="60"/> 秒
課金単位時間	<input type="text" value="0"/> 秒
接続ネットワーク名	<input type="text" value="kaisya"/>
接続先名	<input type="text" value="kawasaki"/>
MP	<input type="radio"/> 使用する(手動) <input type="radio"/> 使用する(自動) <input checked="" type="radio"/> 使用しない
ヘッダ圧縮	<input checked="" type="checkbox"/> VJ

“かんたん設定”では設定を終了すると、自動的に再起動され、通信を行うことができる状態になります。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

4

[必須設定]

接続先の電話番号

半角数字 32 桁以内で設定します。 -、(、) が区切り文字として使えます。

《指定例》

01-2345-6789

01(2345)6789

ユーザ認証ID / パスワード (発信)

本装置から発信接続する際に用いる認証IDとパスワードを半角英数字64文字以内で設定します。

ユーザ認証パスワード / パスワード (着信)

本装置から着信接続する際に用いる認証IDとパスワードを半角英数字64文字以内で設定します。

Si-R30のIPアドレス / ネットマスク

本装置のIPアドレスとネットマスクを設定します。ただし、既存のネットワークに接続するのでなければ、修正は不要です。

IPアドレスに0.0.0.0を設定すると通信ができなくなります。

相手ルータのIPアドレス / ネットマスク

相手ルータのIPアドレスとネットマスクを設定します。本装置はこの設定で得られるネットワークに対してスタティックルートを設定します。

[オプション設定]

DHCP サーバ機能

DHCPサーバ機能を使用するかどうかを設定します。

DNS サーバ広報

必要に応じて接続先またはネットワーク管理者に指示されたDNSサーバのIPアドレスを設定します。設定する値はDHCPサーバ機能により広報されます。省略するか0.0.0.0を設定する場合は広報を行いません。

無通信監視タイマ

ISDN回線の無通信監視タイマを0～3600秒の範囲で設定します。その時間を超えても、通信が行われない場合は、ISDN回線を自動的に切断します。なお、0を設定する場合、自動切断を行いません。

課金単位時間

課金単位時間を0.0～3600.0秒の範囲で指定します。ここで設定する時間は無通信監視による回線切断のときに参照され、同一料金で最大の接続時間を得よう回線切断タイミングを調整します。なお、0を設定する場合、課金単位の調整は行いません。

接続ネットワーク名

ネットワークを識別する名称を半角英数字8文字以内で設定します。

接続先名

接続先を識別する名称を半角英数字8文字以内で設定します。

MP

MP 接続をするかどうかを選択します。“自動”の場合は、データ通信量に応じて適宜増減します。“手動”の場合は「操作メニュー」の「手動チャンネル増加」「手動チャンネル減少」を用いてチャンネルの増減を行います。

ヘッダ圧縮

送受信するパケットのヘッダ部分を圧縮する機能です。圧縮アルゴリズムは、VJヘッダ圧縮（RFC1144に準拠）をサポートします。使用する設定の場合も、実際にヘッダ圧縮を行うかどうかは、相手ホストとのネゴシエーションで決まります。

かんたん設定（オフィスへ専用線接続）

かんたん設定（オフィスへ専用線接続）

⚠ 詳細設定で設定した情報は全て無効になります。

[必須設定]

Si-R30のIPアドレス	192 . 168 . 1 . 1
Si-R30のネットマスク	24 (255.255.255.0)
相手ルータのIPアドレス	192 . 168 . 2 . 1
相手ルータのネットマスク	24 (255.255.255.0)
使用する回線速度	<input type="radio"/> 64Kbps <input checked="" type="radio"/> 128Kbps

[オプション設定]

接続ネットワーク名	kaisya
DHCPサーバ機能	<input checked="" type="radio"/> 使用しない
	<input type="radio"/> 使用する
	DNSサーバ広報 <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
ヘッダ圧縮	<input checked="" type="checkbox"/> VJ

“かんたん設定”では設定を終了すると、自動的に再起動され、通信を行うことができる状態になります。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

設定終了 キャンセル

[必須設定]

Si-R30 のIP アドレス / ネットマスク

本装置のIPアドレスとネットマスクを設定します。マルチNATを使用する場合はローカルなIPアドレス、使用しない場合はプロバイダから割り当てられたIPアドレスを設定します。IPアドレスに0.0.0.0を設定すると通信ができなくなります。

相手ルータのIPアドレス / ネットマスク

相手ルータのIPアドレスとネットマスクを設定します。本装置はこの設定で得られるネットワークに対してスタティックルートを設定します。

使用する回線速度

使用する回線速度をチェックします。

[オプション設定]

接続ネットワーク名

ネットワークを識別する名称を半角英数字8文字以内で設定します。

DHCP サーバ機能

DHCP サーバ機能を使用するかどうかを設定します。

DNS サーバ広報

必要に応じて接続先またはネットワーク管理者に指示されたDNSサーバのIPアドレスを設定します。設定する値はDHCPサーバ機能により広報されます。省略するか0.0.0.0を設定する場合は広報を行いません。

ヘッダ圧縮

送受信するパケットのヘッダ部分を圧縮する機能です。圧縮アルゴリズムは、VJヘッダ圧縮（RFC1144に準拠）をサポートします。使用する設定の場合も、実際にヘッダ圧縮を行うかどうかは、相手ホストとのネゴシエーションで決まります。

かんたん設定（アナログポート）

かんたん設定（アナログポート） **ISDN**



アナログポート1	接続機器	<input checked="" type="radio"/> 電話 <input type="radio"/> なし
	ナンバー・ディスプレイ	<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない
アナログポート2	接続機器	<input checked="" type="radio"/> 電話 <input type="radio"/> なし
	ナンバー・ディスプレイ	<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない

“かんたん設定”では設定を終了すると、すぐに設定が反映されます。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

接続機器

アナログポートに電話を接続するかどうかを指定します。

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイ対応機器を使用するかどうかを指定します。

「詳細設定」で設定する

「かんたん設定」の場合とは異なり、「詳細設定」では設定項目を個別に設定し、各項目を組み合わせて通信できる状態にします。詳細設定メニューでは、「ルータ設定」および「アナログ設定」の設定が行えます。

こんな事に気をつけて

- 「詳細設定」だけで設定する場合、「回線情報」「LAN情報」「相手情報」は必ず設定します。
- 「詳細設定」で設定したあとで「かんたん設定」を行うと、「詳細設定」で設定した内容が無効になります。ただし、パスワード情報、アナログ情報、ファームウェア更新情報は有効です。

「詳細設定」で設定する場合は、更新する内容により、再起動が必要となる場合があります。ただし、複数のページで設定が必要な場合、それぞれのページで設定した情報を [更新] ボタンをクリックして更新しておき、最後に [再起動] ボタンまたは [設定反映] ボタンをクリックすると設定したすべての内容が有効になります。

再起動が必要な場合は [再起動] ボタンが表示され、再起動なしに設定情報を反映できる場合は、[設定反映] ボタンが表示されます。

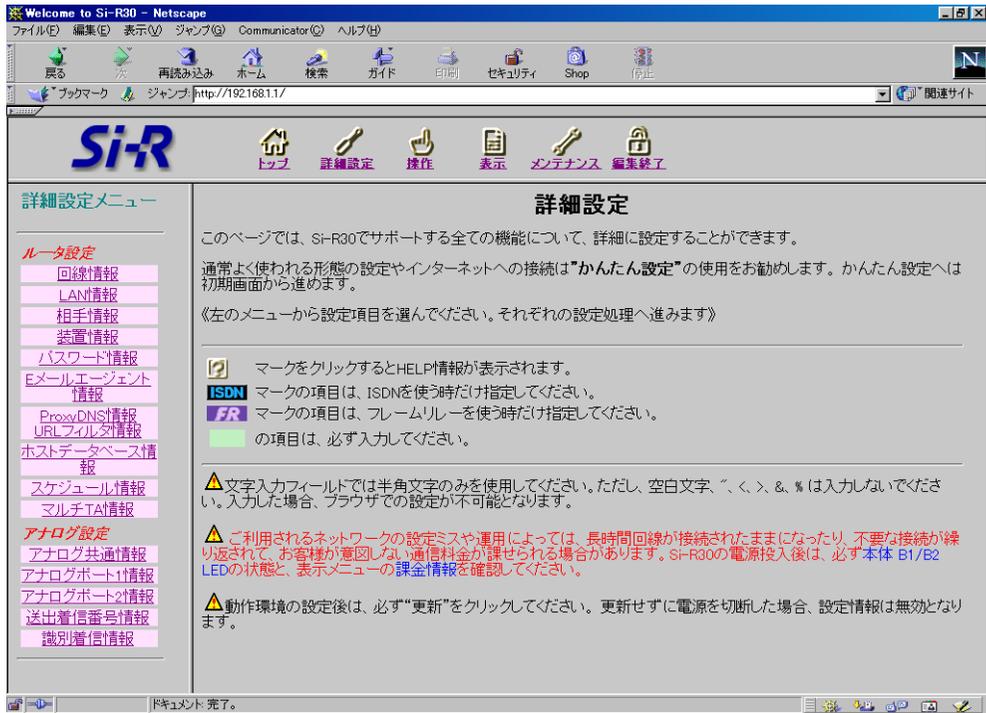
どちらのボタンが必要かについては、更新情報により、ブラウザ画面に必要なボタンが表示されますので、メッセージにしたがって処理を進めます。

なお、クリックするボタンにより、本装置は以下のように動作します。

- [再起動] ボタン : 通話中やデータ通信中の場合、通話およびデータ通信は切断されます。
- [設定反映] ボタン : 通話中やデータ通信中の場合、通話は切断されません。データ通信は切断されます。ただし、マルチTA機能を利用したデータ通信は切断されません。

詳細設定メニューを表示する

本装置のトップページで画面上部の [詳細設定] アイコンをクリックすると、詳細設定メニューが表示されます。



回線情報設定

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「回線情報」

回線情報設定

[[回線情報] ?

回線インタフェース ISDN HSD(64Kbps) HSD(128Kbps)

[[ISDN情報] **ISDN** ?

自動ダイヤル すべて禁止 相手毎に設定

着信動作 すべて禁止 相手毎に設定

しない
 する

チェックする番号1	電話番号を指定 <input type="text"/>	
	サブアドレス	<input type="text"/>
チェックする番号2	電話番号を指定 <input type="text"/>	
	サブアドレス	<input type="text"/>
グローバル着信	<input checked="" type="radio"/> 利用する <input type="radio"/> 利用しない	

発信者番号通知

網契約に従う
 しない
 する

通知する電話番号	<input type="text"/>
通知するサブアドレス	<input type="text"/>

回線接続保持タイム 時間

課金制御

しない
 する

時間	上限時間	<input type="text" value="0"/> 日 <input type="text"/>
	制御動作	<input checked="" type="radio"/> 発信抑止 <input type="radio"/> システムログ出力のみ
金額	上限金額	<input type="text" value="3000"/> 円
	制御動作	<input checked="" type="radio"/> 発信抑止 <input type="radio"/> システムログ出力のみ

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合は キャンセルをクリックしてください。

〔回線情報〕

使用する回線の種類を設定します。

回線インタフェース

以下の3つから使用する回線を選択します。

ISDN

INS ネット 64 などの ISDN 接続の場合にチェックします。

HSD (64Kbps)

ハイ・スーパー・デジタル (HSD) や DA64 などの専用線の場合にチェックします。

HSD (128Kbps)

ハイ・スーパー・デジタル (HSD) や DA128 などの OCN エコノミーや専用線の場合にチェックします。

[ISDN 情報]

ISDN を選択する場合だけ、以下の項目を設定します。

自動ダイヤル

データ通信が発生したときに自動的にダイヤルするかどうかを設定します。

すべて禁止

本装置からの自動ダイヤルを禁止するときは、“すべて禁止”をチェックします。

データ通信発生時にも自動的にダイヤルしません。

相手毎に設定

相手情報のネットワーク情報設定で対象を設定します。

着信動作

外から本装置に対して着信を要求してきたときの動作を設定します。

すべて禁止

着信を装置全体として禁止するときは、“すべて禁止”をチェックします。データ通信の着信をすべて拒否し、発信専用にします。

相手毎に設定

相手情報のネットワーク情報の接続先情報設定で設定します。

自局番号チェック

ダイヤルイン番号やサブアドレスを利用して着信機器を識別するかどうかを選択します。

しない

着信時に自局の電話番号をチェックしません。

する

ダイヤルイン番号や i・ナンバー、サブアドレスを利用して着信機器を識別します。

この番号は2つまで設定できます。

チェックする番号は、以下の中から選択します。

- ・電話番号を指定
- ・i・ナンバー情報1(契約者回線番号)
- ・i・ナンバー情報2(追加の番号)
- ・i・ナンバー情報3(追加の番号)

“電話番号を指定”を選択する場合、右の記入欄に電話番号を32桁以内で設定します。

また、どれを選択する場合もサブアドレスを19桁以内で設定します。

“電話番号を指定”を選択し、右の記入欄に電話番号を記述せずに、サブアドレスだけを設定する場合、電話番号は任意となります。

グローバル着信を行う場合は、“グローバル着信”を“利用する”に設定します。

☛ 参照 「ダイヤルイン/グローバル着信機能を使う」(P.287)

発信者番号通知

発信者番号通知の内容を変更する場合に設定します。通常は“網契約に従う”の状態です。問題ありません。

網契約に従う

回線の加入契約で選択した内容の設定になります。

しない

接続先に自分の電話番号を通知しません。

する

通知する電話番号とサブアドレスを設定します。電話番号を32桁以内、サブアドレスを19桁以内で設定します。なお、PIAFS(64Kbps)発信時には、設定したサブアドレスは無視され相手に通知されません。

回線接続保持タイマ

回線接続保持タイマは操作メニューでテレホーダイ開始をクリックすると有効になります。無通信監視タイマによる切断を無効とする時間を0~24時間の範囲で設定します。通信時間監視タイマを設定した時刻から設定時間が経過するまでの間、無通信状態が続いても、無通信監視タイマによる切断は行われません。

課金制御

通信総時間と課金合計金額による自動発信制限を行うかどうかを選択します。

しない

課金制御を行いません。

する

時間による制御と課金による制御が行え、両方を同時に使うこともできます。上限時間は0～999時間、上限金額は0～999999円の範囲で指定します。なお、0または空白を設定する場合は、その機能は無効となります。

[DHCP機能]

使用しない
 使用する

DHCPサーバ機能	割当て先頭IPアドレス	192	168	1	2
	割当てアドレス数	32			
	リース期間	1	日		
	デフォルトルータ広報	192	168	1	1
	DNSサーバ広報	192	168	1	1
	セカンダリDNSサーバ広報				
	ドメイン名広報				

※“割当て先頭アドレス”がSi-R30のIPアドレスと同じネットワークアドレス内であることを確認してください。

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

更新 キャンセル

[IP アドレス]

本装置のIPアドレスを設定します。

IPアドレス/ネットマスク

本装置のLAN側のIPアドレスとネットマスクを設定します。

こんな事に気をつけて

IPアドレスに0.0.0.0を設定すると通信ができなくなります。

ブロードキャストアドレス

本装置のLAN側のブロードキャストアドレスを以下の中から選択します。

- ・0.0.0.0
- ・255.255.255.255
- ・ネットワークアドレスのホスト部をオール0にしたもの
- ・ネットワークアドレスのホスト部をオール1にしたもの

通常は“ネットワークアドレス+オール1”から変更する必要はありません。

[セカンダリIPアドレス]

本装置はLAN側に複数のIPアドレスを持つことができます。複数のIPアドレスを使用する場合に設定します。

こんな事に気をつけて

セカンダリIPアドレスの属するネットワークには、以下のサービスは行いません。

- RIPの送受信
- DHCP機能

[ダイナミックルーティング機能]

ダイナミックルーティングを行うためのルーティング情報を設定します。

RIP 送信

RIP 情報を送信するかどうかを選択します。

送信しない

RIP 情報を送信しません。

V1 で送信する

RIP V1 を使用して、30 秒ごとに RIP 情報を送信します。

V2 で送信する

RIP V2 を使用して、30 秒ごとに RIP 情報を送信します。

RIP 受信

RIP 情報を受信するかどうかを選択します。

送信しない

RIP 情報を受信しません。

V1 で送信する

RIP V1 を使用して受信します。

V2 で送信する

RIP V2 を使用して受信します。

メトリック値

RIP 送信時に加算するメトリック値を設定します。

認証バケット

RIP V2 使用時にだけ有効な設定です。RIP V2 では、同一パスワードグループでだけ、RIP 情報の交換を行うことができます。

破棄する

パスワード認証による RIP 情報の交換は行いません。

破棄しない

パスワード認証によるRIP情報の交換を行います。パスワードを半角英数字16文字以内で設定します。

[スタティックルーティング情報一覧]

現在、LAN側に設定しているスタティックルーティング情報の一覧です。

スタティックルーティングの定義は装置全体で32個まで設定できます。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。

[DHCP 機能]

DHCP サーバ機能

本装置をLAN側ネットワークのDHCPサーバとして使用するかどうかを選択します。

使用しない

本装置をDHCPサーバとして使用しません。

使用する

本装置のDHCPサーバ機能を使用します。以下の項目を指定します。

割当て先頭IPアドレス

DHCPサーバ機能により、割り当てる連続したアドレス群の先頭のIPアドレスを設定します。

割当てアドレス数

DHCPサーバ機能で割り当てるアドレス数を1～32の範囲で指定します。

こんな事に気をつけて

ホストデータベース機能を使用すると特定のDHCPクライアントに対して固有のIPアドレスを割り当てることができます。この場合のIPアドレスは、割当て先頭IPアドレスと割当てアドレス数によって規定される動的割り当て範囲である必要はありません。

リース期間

DHCPサーバ機能により割り当てたIPアドレスを貸し出す期間を、1時間以上、365日未満の範囲で指定します。0を指定すると無期限を意味します。

デフォルトルータ広報

DHCPサーバで広報するデフォルトルータのIPアドレスを設定します。省略、または0.0.0.0を設定すると、DHCPサーバによる広報を行いません。

DNSサーバ広報

DNSサーバのIPアドレスを設定します。省略、または0.0.0.0を設定すると、DHCPサーバによる広報を行いません。ProxyDNSを使用する場合は、本装置のIPアドレスを設定します。

セカンダリDNSサーバ広報

セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。省略、または0.0.0.0を設定すると、DHCPサーバによる広報を行いません。

広報ドメイン名

ドメイン名を半角英数字80文字以内で設定します。省略する場合は、DHCPサーバによる広報を行いません。

ヒント

ダイナミックルーティングとスタティックルーティング

スタティックルーティングとは、目的とする接続先へ到達するまでのルートをあらかじめ設定しておき、常に固定的なルートを選択してデータ通信を行います。それに対して、ダイナミックルーティングはルータ間でルーティング情報をやりとりすることで、その都度ネットワークに応じて最適なルートを選択してデータ通信を行うものです。

ルーティング情報設定 (LAN 情報)

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「LAN 情報」 [スタティックルーティング情報一覧]

ルーティング情報設定



ネットワーク	<input type="radio"/> デフォルトルート	中継ルータアドレス <input style="width: 40px;" type="text"/> <input style="width: 40px;" type="text"/> <input style="width: 40px;" type="text"/> <input style="width: 40px;" type="text"/>
	<input checked="" type="radio"/> ネットワーク指定	宛先IPアドレス <input style="width: 40px;" type="text"/> <input style="width: 40px;" type="text"/> <input style="width: 40px;" type="text"/> <input style="width: 40px;" type="text"/>
		宛先アドレスマスク <input style="width: 40px;" type="text"/> 0 (0.0.0.0)
		中継ルータアドレス <input style="width: 40px;" type="text"/> <input style="width: 40px;" type="text"/> <input style="width: 40px;" type="text"/> <input style="width: 40px;" type="text"/>
メトリック値	<input style="width: 40px;" type="text"/> 1	

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

ルーティング情報を固定で設定できます。ただし、デフォルトルート指定は装置に1つしか設定できません。

ネットワーク

デフォルトルートまたはネットワーク指定を選択し、あて先および中継先のネットワークを指定します。

デフォルトルート

ネットワークが指定されていないあて先をもつパケットの転送先を指定します。

ネットワーク指定

パケットを転送するあて先のネットワークを指定します。

メトリック値

メトリック値を指定します。これは、ここで設定するルーティング情報をRIPで送信するときに加算されます。

相手情報設定

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「相手情報」

相手情報設定

ネットワーク情報 着信相手識別情報 受諾認証ID情報

《接続するネットワークの情報を設定します。接続できるネットワークは16個までです》
 《相手の電話番号を特定せずにパソコンからの着信のみを行いたい場合は不特定相手の設定を行ってください》

[ネットワーク情報一覧] 

ネットワーク	WAN側IPアドレス	自動ダイヤル	NAT	その他	修正/削除
	接続先情報				
不特定相手着信					修正
ISDN					
追加 全削除					

《着信相手識別情報は着信相手のネットワークを特定するための情報を設定します》
 《発信者番号によって相手を特定した場合には参照されません》

[着信相手識別情報] **ISDN** 

着信許可	<input type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
認証方式	<input checked="" type="checkbox"/> PAP <input checked="" type="checkbox"/> CHAP
MP接続	<input type="radio"/> しない
	<input type="radio"/> する
	BAP/BACP利用 <input type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
コールバック応答	<input type="radio"/> する <input type="radio"/> しない

[受諾認証ID情報一覧] **ISDN** 

認証ID	修正/削除
追加	全削除

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

更新 キャンセル

4

[ネットワーク情報一覧]

現在、設定している接続相手のネットワーク情報の一覧です。ネットワークの定義は16個まで設定できます。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。

「不特定相手着信」欄の [修正] ボタンをクリックすると、「不特定相手情報設定」ページに進みます。

[着信相手識別情報]

発信者番号では識別されない相手から着信がある場合に、利用する情報です。

着信許可

発信者番号では識別されない相手からの着信を許可するかどうかを指定します。

認証方式

着信時に利用する認証プロトコルをチェックします。どのプロトコルもチェックしない場合は、認証は行いません。

MP 接続

着信時に MP 接続を受け付けるかどうかを設定します。“する”をチェックする場合は、BAP/BACP の利用可否も設定します。BAP/BACP 機能をサポートする相手装置と接続する場合は、BAP/BACP 利用を必ず“する”に設定してください。

コールバック応答

着信時にコールバック応答を行うかどうかを指定します。

[受諾認証 ID 情報一覧]

現在、設定している着信時に受け付ける認証 ID 情報の一覧です。32 個まで設定できます。ここにはない ID でも、各接続先情報の受諾認証情報に記述されている ID であれば、着信は受け付けます。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。

ネットワーク情報設定

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「相手情報」 [ネットワーク情報一覧]

ネットワーク情報設定

基本情報	接続先情報	MP情報
ダイナミックルーティング	スタティックルーティング	IPフィルタリング
NAT情報	静的NAT情報	

[基本情報] 

ネットワーク名	<input type="text"/>
ヘッダ圧縮	<input checked="" type="checkbox"/> VJ
WAN側IPアドレス	<input type="radio"/> 設定しない <input type="radio"/> 設定する 相手IPアドレス <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 自側IPアドレス <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
MTUサイズ	<input type="text" value="1500"/> バイト
自動ダイヤル ISDN	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない
MSS書き換え	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する MSS書き換え <input type="text"/> バイト

《接続先は、各ネットワークの合計で16箇所まで設定でき、複数のプロバイダを利用条件により切替えることができます。》

[接続先情報一覧] 

優先順位	接続先	マルチルーティング ソース	ポート	接続制限	電話番号	修正/削除/移動

[MP情報] **ISDN** 

MP回線初期リンク数	<input type="text" value="1"/>									
アナログ使用時縮退	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない									
トラフィックによる増減	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回線使用率</th> <th>猶予時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回線増加条件</td> <td><input type="text" value="90"/> %</td> <td><input type="text" value="10"/> 秒</td> </tr> <tr> <td>回線削減条件</td> <td><input type="text" value="40"/> %</td> <td><input type="text" value="60"/> 秒</td> </tr> </tbody> </table>		回線使用率	猶予時間	回線増加条件	<input type="text" value="90"/> %	<input type="text" value="10"/> 秒	回線削減条件	<input type="text" value="40"/> %	<input type="text" value="60"/> 秒
	回線使用率	猶予時間								
回線増加条件	<input type="text" value="90"/> %	<input type="text" value="10"/> 秒								
回線削減条件	<input type="text" value="40"/> %	<input type="text" value="60"/> 秒								
受信バケット順序制御	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない									

[ダイナミックルーティング機能] ?

RIP送信	<input checked="" type="radio"/> 送信しない <input type="radio"/> V1で送信する <input type="radio"/> V2で送信する
RIP受信	<input checked="" type="radio"/> 受信しない <input type="radio"/> V1で受信する <input type="radio"/> V2で受信する

《 RIP 送信時は加算するメトリック値を設定してください。》

メトリック値

《 RIP V2使用時に認証パケットを破棄しない時はRIP V2パスワードを設定してください。》

認証パケット	<input type="radio"/> 破棄する <input checked="" type="radio"/> 破棄しない パスワード <input style="width: 150px;" type="text"/>
--------	--

[スタティックルーティング情報一覧] ?

宛先IPアドレス	宛先アドレスマスク	メトリック値	修正/削除
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="全削除"/>			

[IPフィルタリング情報一覧] ?

優先順位	動作	プロトコル	送信元IPアドレス/マスク	送信元ポート番号	宛先IPアドレス/マスク	宛先ポート番号	TCP接続要求	修正/削除/移動
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="全削除"/>								

[NAT情報] ?

NATの使用	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> NAT <input type="radio"/> マルチNAT
グローバルアドレス	<input style="width: 100px;" type="text"/>
アドレス個数	<input style="width: 50px;" type="text"/> 個
アドレス割当てタイム	<input style="width: 50px;" type="text"/> 時間
NATセキュリティ	<input type="radio"/> 通常 <input checked="" type="radio"/> 高い
フラグメント順序変更	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する

[静的NAT情報一覧] [マルチNATを選択時のみ有効] ?

プライベートアドレス	プライベートポート番号	グローバルアドレス	グローバルポート番号	プロトコル	修正/削除
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="全削除"/>					

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

[基本情報]

ルーティングの対象となるネットワークの情報を設定します。

ネットワーク名

このネットワークを識別する名称を半角英字8文字以内で設定します。

ヘッダ圧縮

送受信するパケットのヘッダ部分を圧縮する機能です。圧縮アルゴリズムは、VJヘッダ圧縮（RFC1144に準拠）をサポートします。使用する設定の場合も、実際にヘッダ圧縮を行うかどうかは、相手ホストとのネゴシエーションで決まります。

WAN側IPアドレス

WAN側のIPアドレスを固定で使用するかどうかを選択します。

設定しない

WAN側のIPアドレスを固定で設定しません。

設定する

固定で使用するWAN側のIPアドレスを設定します。“相手IPアドレス”または“自側IPアドレス”の一方だけを指定し、他方を省略することもできます。

主にプロバイダ接続する場合や本装置どうしの接続の場合には、両方とも省略することができます。本装置以外の装置との接続のように対等な関係で接続する場合は、両方ともWAN側のIPアドレスを指定します。

MTUサイズ

最大パケット送信サイズ（Maximum Transmission Unit）を200～1500バイトの範囲で設定します。

自動ダイヤル

データ通信発生時に自動的にダイヤルするかどうかを選択します。使用する場合は、データ通信発生時に自動的にダイヤルします。

こんな事に気をつけて

回線情報で自動ダイヤルを“すべて禁止”としている場合には自動ダイヤルは行いません。自動ダイヤルを行う場合は回線情報の自動ダイヤルを“相手毎に設定”とします。

MSS書き換え

MSS書き換え機能の設定をします。MSS書き換え機能を使用する場合は“使用する”を選択します。書き換えサイズを0または160～1460の範囲で指定します。0を指定した場合はMSS書き換え機能が無効となります。

[接続先一覧]

現在、設定されている接続先情報の一覧です。マルチルーティングを行う場合には、優先順位の1から順に評価され最初に条件が成立した接続先にデータが流れます。接続先の定義は装置全体で16個まで設定できます。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。

[MP 情報]

MP (MultilinkPPP) の情報を設定します。

MP 回線初期リンク数

回線接続時に接続するチャンネル数を指定します。

アナログ使用時縮退

MPで2本のチャンネルを使用している時に、アナログ電話がかかってきたり、アナログ電話の受話器を上げたりする場合に、チャンネルを1本に減らしてアナログ機器を使用することができます。これを行う場合は“する”をチェックします。

トラフィックによる増減

回線負荷に応じて帯域幅 (1B,2B) を自動的にコントロールする機能 (BOD) を使用するかどうかを設定します。“する”を選択する場合は、回線増減の条件も指定します。指定する回線使用率を超える (削減の場合は下回った) 状態が“猶予時間”以上続く時点で、回線の接続 (削減の場合は切断) を行います。回線使用率は0 ~ 100%、猶予時間は0 ~ 3600秒の範囲で指定します。

この機能を利用する場合、主に発信側となる装置のBOD機能を有効にし、着信側となる装置のBOD機能は無効にしてください。発信側および着信側の両装置でBOD機能を有効にすると、両装置の仕様差により、着信側から発呼する場合があります、着信側に課金が発生する場合がありますので注意してください。なお、BAP/BACP機能をサポートする相手装置と接続する場合は、接続先情報のMP接続でBAP/BACP利用を必ず“する”にしてください。

受信バケット順序制御

MPを使用する場合は、必ず“する”をチェックします。“しない”をチェックすると、MPとヘッダ圧縮 (VJ) を併用する場合にヘッダ圧縮 (VJ) が無効になります。

[ダイナミックルーティング機能]

ダイナミックルーティングを行うためのルーティング情報を設定します。

RIP 送信

RIP情報を送信するかどうかを選択します。送信する設定にすると、30秒ごとにRIP情報を送信します。

こんな事につけて

ISDNの場合、RIP情報を送信すると思わぬ課金（定期発信または長時間接続）が発生します。

RIP 受信

RIP 情報を受信するかどうかを選択します。

メトリック値

RIP 送信時に加算するメトリック値を設定します。

認証バケット

RIP V2 使用時にだけ有効な設定です。RIP V2 では、同一パスワードグループでだけ、RIP 情報の交換を行うことができます。

破棄する

パスワード認証による RIP 情報の交換は行いません。

破棄しない

パスワード認証による RIP 情報の交換を行います。パスワードを半角英数字 16 文字以内で設定します。

[スタティックルーティング情報一覧]

現在、このネットワークに設定しているスタティックルーティング情報の一覧です。スタティックルーティングの定義は装置全体で 32 個まで設定できます。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。

[IP フィルタリング情報一覧]

現在、このネットワークに設定している IP フィルタリング情報の一覧です。処理は優先順位 1 から順に行います。IP フィルタリングの定義は装置全体で 32 個まで設定できます。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。

[NAT 情報]

NAT に関する情報を設定します。

NAT の使用

NAT を使用するかどうかを選択します。マルチ NAT を使うと複数の端末を同時に使用できます。NAT を使用しない場合には、以下の設定は無効です。

グローバルアドレス

特定のグローバルアドレスを使用する場合に指定します。設定しない場合は自動で割り当てられます。

アドレス個数

複数個のグローバルアドレスを使用する場合は、上述のグローバルアドレスを先頭とし、連続した複数のアドレスを指定します。その個数を1～16の範囲で指定します。

アドレス割当てタイマ

アドレス変換情報は一定の時間該当する通信を行わないと、自動的に解放されます。解放するための猶予時間を0～24時間の範囲で指定します。0を指定すると、回線が切断するまで情報は解放されません。

NAT セキュリティ

通常

相手サーバがNATを使用する場合など、要求先とは別のアドレスから応答する場合に選択します。

高い

ftpやdnsの要求する相手からの応答かどうかをチェックします。

フラグメント順序変更

NATは、フラグメントされたパケットの順序を前後逆転して受信した場合、そのパケットを破棄します。フラグメントされたパケットの順序が逆転しないように、あらかじめパケットを整列させる場合は、"使用する"を選択します。

[静的NAT情報一覧]

NATを使用すると、アドレス変換情報は固定で持つことができます。現在、設定している固定のアドレス変換情報の一覧です。

静的NATの定義は装置全体で32個まで設定できます。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。

接続先情報設定

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「相手情報」 [ネットワーク情報一覧]
[接続先一覧]

基本情報	マルチルーティング	発信情報
着信情報	発信者番号識別による着信情報	
[基本情報] 		
接続先名	<input type="text"/>	
ダイヤル1	電話番号	<input type="text"/>
	サブアドレス	<input type="text"/>
	相手種別	<input type="text" value="ISDN"/>
ダイヤル2	電話番号	<input type="text"/>
	サブアドレス	<input type="text"/>
	相手種別	<input type="text" value="ISDN"/>
ダイヤル3	電話番号	<input type="text"/>
	サブアドレス	<input type="text"/>
	相手種別	<input type="text" value="ISDN"/>
DNSサーバ	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
MP接続	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する <input type="text" value="BAP/BACP利用"/> <input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない <small>※発信者番号による識別で番号をチェックしない場合は着信相手識別情報の設定が有効</small>	
無通信監視タイマ	<input type="text" value="60"/> 秒	
課金単位時間	昼間(月～金) (08:00～19:00)	<input type="text"/> <input type="text" value="0"/> 秒
	夜間(土日の昼間) (19:00～23:00)	<input type="text"/> <input type="text" value="0"/> 秒
	深夜・早朝 (23:00～08:00)	<input type="text"/> <input type="text" value="0"/> 秒
回線接続保持機能	<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない	

[マルチルーティング] 	
ソースアドレスルーティング	ローカルホストIPアドレス <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> アドレスマスク <input type="text" value="0 (0.0.0.0)"/>
ポートルーティング	ポート番号 <input type="text"/> サーバホスト名 <input type="text"/> <input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="全削除"/>
接続制限	<input type="checkbox"/> 指定した時間を超えて接続しない <input type="text"/> 時間 <input type="button" value="▼"/> <input type="checkbox"/> 指定した課金を超えて接続しない <input type="text"/> 円
[発信情報] 	
送信認証情報	送信認証ID <input type="text"/> 認証パスワード <input type="text"/>
コールバック要求	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する コールバック方式 <input type="text" value="CBCP"/> コールバックウェイトタイム <input type="text" value="60"/> 秒 コールバック電話番号 <input type="text"/> コールバックサブアドレス <input type="text"/>
[着信情報] 	
着信許可	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない
受諾認証情報	認証ID <input type="text"/> 認証パスワード <input type="text"/>
[発信者番号識別による着信情報] 	
発信者番号による識別	<input type="radio"/> 番号チェックをしない <input checked="" type="radio"/> 番号チェックをする
チェック番号	電話番号 <input type="text"/> サブアドレス <input type="text"/> ※未設定時は基本情報の番号でチェックする
認証方式	<input checked="" type="checkbox"/> PAP <input checked="" type="checkbox"/> CHAP
コールバック応答	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する コールバック方式 <input type="text" value="CBCP"/> コールバックウェイトタイム <input type="text" value="10"/> 秒 コールバック電話番号 <input type="text"/> コールバックサブアドレス <input type="text"/>
設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。	
<input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

[基本情報]

接続先ごとに固有の情報を設定します。

接続先名

この接続先を識別する名称を半角英数字8文字以内で設定します。この接続先名は手動接続の際にも使用されます。

ダイヤル1/2/3

接続に用いる電話番号は3つまで設定できます。ダイヤル1の電話がかからないときはダイヤル2に、ダイヤル2がかからないときはダイヤル3にダイヤルします。相手種別は送信時だけ参照します。着信時には自動認識します。

電話番号

電話番号を32桁以内で指定します。電話番号には、0～9、*、#が指定できます。

サブアドレス

サブアドレスは19桁以内で設定します。

PIAFS (64Kbps) 着信時には、設定するサブアドレスは無視されます。

相手種別

相手の種別をISDN、32kPIAFS、64kPIAFS (NTT DoCoMo方式)、64kPIAFS (DDI Pocket方式)の中から選択して指定します。

DNSサーバ

接続するときに使用するDNSサーバのIPアドレスを設定します。ProxyDNSを使用するとき必要となります。省略、または0.0.0.0を設定する場合は、自動取得となります。

255.255.255.255を設定する場合は使用しません。また、このアドレスはPPPのネゴシエーションの中で相手から要求がある場合、相手に受け渡すDNSサーバアドレスとしても使用します。

MP接続

MP接続を行うかどうかを選択します。“する”を設定する場合は、BAP/BACPの利用可否も指定します。ただし、発信者番号では識別されない相手からの着信については、相手情報の着信相手識別情報の設定を参照します。BAP/BACP機能をサポートする相手装置と接続する場合は、BAP/BACP利用を必ず“する”に設定してください。

無通信監視タイマ

ISDN回線の無通信監視タイマを0～3600秒の範囲で設定します。その時間を超えても、通信が行われない場合は、ISDN回線を自動的に切断します。なお、0を設定する場合、自動切断を行いません。

課金単位時間

各時間帯の課金単位時間を0.0～3600.0秒の範囲で指定します。ここで設定する時間は無通信監視による回線切断のときに参照し、同一料金で最大の接続時間を得るよう回線切断タイミングを調整します。なお、昼間時間帯に0を設定する場合、課金単位の調整は行いません。また、夜間時間帯や深夜・早朝時間帯に0を設定する場合は、その前の時間帯の設定を利用します。

こんな事に気をつけて

この機能を使用するときは、操作メニューの時刻設定を用いて本装置の内部時計を正しく設定してください。また、祝日の料金体系には対応していません。

回線接続保持機能

回線接続保持機能はテレホーダイ契約している電話番号向けの機能です。テレホーダイ機能の動作中に、この接続先を回線接続保持の対象とするかどうかを選択します。

[マルチルーティング]

従来のIPルーティングに加え、ローカルホストIPアドレス、ポート番号および接続制限の組み合わせによるルーティングを行います。

ソースアドレスルーティング

ローカルホストIPアドレスによるルーティングを行います。この接続先に送信するパケットをローカルホストIPアドレスによって定義します。

ローカルホストIPアドレス、アドレスマスクの組合せにより、対象となるローカルホストIPアドレスを決定します。

こんな事に気をつけて

すべての接続先に対してソースアドレスルーティングがを設定している状態で、本装置のファームウェア更新や通信確認(ping)などは行えません。必ず1つはソースアドレスルーティングを行わない接続先を定義します。

ポートルーティング

ポート番号を使用して、ルーティングを行います。この接続先に送信するパケットをポート番号(サービス)によって定義します。ポートルーティングの定義は装置全体で32個まで設定できます。

接続制限

この接続先を接続時間と課金によって発信抑制をします。時間は0～999時間、金額は0～999,999円の範囲で設定できます。

[発信情報]

接続先への発信に関する情報を設定します。

送信認証情報

発信時に使用する認証IDとパスワードをそれぞれ64桁以内で設定します。

コールバック要求

コールバック要求を行うかどうかを選択します。コールバック要求とは、いったん接続して認証を行ったあとに回線を切断して、相手から電話をかけ直してもらう機能です。

しない

コールバック要求を行いません。

する

コールバック要求をする場合は以下の項目を設定します。

コールバック方式

コールバックを行う場合の方式をCBCPまたは無課金の中から選択します。Microsoft製品やCBCP方式をサポートしている装置とのコールバックを行う場合は“CBCP”を選択します。本装置どうしのコールバックを行う場合には“無課金”も選択できます。“無課金”ではコールバック要求側には電話料金はかかりません。

コールバックウェイトタイム

コールバック要求後の着信待ち時間を0～60秒の範囲で指定します（推奨時間60秒）。コールバックがうまくいかないときは、この時間を長くします。

コールバック電話番号

コールバックで相手側にダイヤルしてもらう電話番号を32桁以内で指定します。この電話番号は、CBCP方式によるコールバックにだけ有効です。

コールバックサブアドレス

コールバックで相手側にダイヤルしてもらう電話番号のサブアドレスを半角英数字19文字以内で指定します。このサブアドレスは、CBCP方式によるコールバックにだけ有効です。

[着信情報]

接続先からの着信に関する情報を設定します。接続先の特定に使用します。

着信許可

この接続先から着信を許可するかどうかを設定します。

受諾認証情報

着信時に受け付ける認証IDとパスワードをそれぞれ64桁以内で設定します。発信者番号でこの接続先を識別できる場合は、この情報を省略し、代わりに相手情報の受諾認証ID情報を使用できます。

[発信者番号識別による着信情報]

発信者番号で識別する相手の着信に関する情報を設定します。

発信者番号による識別

着信時の相手識別の方法は2つあります。発信者番号通知を用いる方法と、認証IDを用いる方法です。

番号チェックをしない

発信者番号通知で相手を識別しません。

番号チェックをする

発信者番号通知で相手を識別します。以下の情報を設定します。

チェックする番号

相手識別に使用する電話番号を32桁以内、サブアドレスを19桁以内で設定します。省略時は基本情報の値を使用します。なお、PIAFS(64Kbps)着信時には、設定するサブアドレスを無視します。

認証方式

着信時に利用する認証プロトコルをチェックします。どれもチェックしない場合は、その相手からの着信は認証しません。

コールバック応答

相手からのコールバック要求を受け付けるかどうかを選択します。

しない

相手からコールバック要求がある場合も、コールバック応答を行いません。

する

コールバック要求に応答する場合は以下の項目を指定します。

コールバック方式

コールバックを行う場合の方式をCBCPまたは無課金の中から選択します。Microsoft製品やCBCP方式をサポートしている装置とのコールバックを行う場合は“CBCP”を選択します。本装置どうしのコールバックを行う場合には“無課金”も選択できます。“無課金”ではコールバック要求側には電話料金はかかりません。

コールバックウェイトタイム

コールバック要求を受け、回線切断後、発信を行うまでの待ち時間を0～60秒の範囲で指定します（推奨10秒）。コールバックがうまくいかないときは、この時間を長くします。

コールバック電話番号

コールバック要求を受け、自側がダイヤルする電話番号を32桁以内で指定します。

コールバックサブアドレス

コールバック要求を受け、自側がダイヤルする電話番号のサブアドレスを半角英数字19文字以内で指定します。

ポートルーティング情報設定

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「相手情報」 [ネットワーク情報一覧]
[接続先一覧] [マルチルーティング]

ポートルーティング情報設定

[ポートルーティング情報] 

ポート番号	ftp	▼	番号指定:	<input type="text"/>	“その他”を選択時のみ有効です
サーバホスト名	<input type="text"/>				

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

[ポートルーティング情報]

ポート番号を使用して、ルーティングを行います。この接続先に送信するパケットをポート番号（サービス）によって定義します。この機能はProxyDNSを使用する場合だけ有効です。

ポート番号

ポートルーティングの対象となるサービスを選択します。“その他”を選択する場合は、ポート番号を1～65535の範囲の10進数で指定します。

サーバホスト名

ポートルーティングの対象となるホスト名を半角英数字80文字以内で設定します。

ルーティング情報設定（ネットワーク情報）

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「相手情報」 [ネットワーク情報一覧]
[スタティックルーティング情報一覧]

ルーティング情報設定



ネットワーク	<input type="radio"/> デフォルトルート <input checked="" type="radio"/> ネットワーク指定
	宛先IPアドレス <input style="width: 40px;" type="text"/> . <input style="width: 40px;" type="text"/> . <input style="width: 40px;" type="text"/> . <input style="width: 40px;" type="text"/> 宛先アドレスマスク <input style="width: 100px;" type="text" value="0 (0.0.0.0)"/>
メトリック値	<input style="width: 40px;" type="text" value="1"/>

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

更新
キャンセル

ルーティング情報を固定で設定できます。ただし、デフォルトルート指定は装置に1つしか設定できません。

ネットワーク

あて先および中継先のネットワークを指定します。

デフォルトルート

ネットワークが指定されていないあて先をもつパケットの転送先をデフォルトに指定します。

ネットワーク指定

パケットを転送するあて先のネットワークを指定します。

メトリック値

メトリック値を指定します。これは、ここで設定するルーティング情報をRIPで送信するときに加算されます。

IPフィルタリング情報（ネットワーク情報）

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「相手情報」 [ネットワーク情報一覧]
[IPフィルタリング情報一覧]

IPフィルタリング情報



動作	<input checked="" type="radio"/> 透過 <input type="radio"/> 透過(接続中のみ) <input type="radio"/> 遮断		
プロトコル	すべて <input type="text" value=""/> (番号指定: <input type="text" value=""/> "その他"を選択時のみ有効です)		
送信元情報	IPアドレス	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	アドレスマスク	0 (0.0.0.0) <input type="text"/>	
	ポート番号[.]	<input type="text"/>	
宛先情報	IPアドレス	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	アドレスマスク	0 (0.0.0.0) <input type="text"/>	
	ポート番号[.]	<input type="text"/>	
TCP接続要求	<input checked="" type="radio"/> 対象 <input type="radio"/> 対象外		

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

優先順位の高い定義より順にパケットのチェックを行い、すべての条件が一致する場合に定義する動作を行います。ただし、分割されたパケットに対しては正しく扱えません。

動作

IPフィルタリングの動作を以下の3つから選択します。

透過

条件と一致する場合にパケットを透過します。

透過（接続中のみ）

条件と一致する場合に、ISDN回線が接続しているときはパケット透過します。切断しているときは遮断します。

遮断

条件と一致する場合にパケットを遮断します。

プロトコル

フィルタリング条件としてプロトコルを以下の5つから選択します。

- ・すべて (0)
- ・ICMP (1)
- ・TCP (6)
- ・UDP (17)
- ・その他

“その他”を選択する場合、プロトコル番号を0～255の範囲の10進数で指定します。

送信元 / 宛先情報

IPアドレス / アドレスマスク

フィルタリング条件としてのIPアドレス、およびアドレスマスクを設定します。

チェック対象となるパケットのIPアドレスと定義するアドレスマスクの論理積と、定義するIPアドレスとアドレスマスクの論理積が等しい場合に条件に一致することになります。

ポート番号

フィルタリング条件としてポート番号を1～65535の範囲の10進数または‘any’で設定します。‘any’を設定する場合はすべてのポート番号をフィルタリングの対象とします。また、ポート番号を複数指定する場合は‘,’で区切ります。範囲指定の場合は‘-’で区切ります。送信元情報と宛先情報を合わせて10組まで設定できます。

TCP 接続要求

TCPプロトコルでのコネクション接続要求をフィルタリングの対象に含めるかどうかを設定します。

静的NAT情報設定

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「相手情報」 [ネットワーク情報一覧]
[静的NAT情報一覧]

静的NAT情報設定



プライベートIP情報	IPアドレス <input style="width: 40px;" type="text"/> <input style="width: 40px;" type="text"/> <input style="width: 40px;" type="text"/> <input style="width: 40px;" type="text"/>
	ポート番号 すべて (番号指定: <input style="width: 40px;" type="text"/> “その他”を選択時のみ有効です)
グローバルIP情報	IPアドレス <input style="width: 40px;" type="text"/> <input style="width: 40px;" type="text"/> <input style="width: 40px;" type="text"/> <input style="width: 40px;" type="text"/>
	ポート番号 すべて (番号指定: <input style="width: 40px;" type="text"/> “その他”を選択時のみ有効です)
プロトコル	すべて (番号指定: <input style="width: 40px;" type="text"/> “その他”を選択時のみ有効です)

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

更新
キャンセル

プライベートIP情報

固定でアドレス変換を行う場合にローカルネットワーク側のIPアドレスとポート番号を指定します。IPアドレスは省略できません。

ポート番号を指定する場合は、1～65535の範囲で指定します。なお、グローバルポート番号を範囲指定する場合には、その範囲のグローバルポート番号は、指定するプライベートポート番号を先頭とする範囲へ変換されます。例えば、プライベートポート番号に1000を指定し、グローバルポート番号に10000-11000を指定すると、グローバルポート番号の10000から11000はプライベートポート番号の1000から2000に変換されます。

グローバルIP情報

固定でアドレス変換を行う場合にWAN側のIPアドレスとポート番号を設定します。IPアドレスは省略できます。省略する場合、すべてのグローバルアドレスに対して有効な設定となります。ポート番号を指定する場合は、1～65535の範囲で1つ、または'-'で区切った1組の範囲を指定します。

プロトコル

固定でアドレス変換を行う場合に対象となるプロトコルを以下の7つから選択します。

- ・すべて (0)
- ・ICMP (1)
- ・TCP (6)
- ・UDP (17)
- ・ESP (50)
- ・AH (51)
- ・その他

"その他" を選択した場合、プロトコル番号を0 ~ 255の範囲の10進数で指定します。

不特定相手情報設定

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「相手情報」 [ネットワーク情報一覧]

不特定相手情報設定

基本情報
MP情報
IPフィルタリング情報

[基本情報]

割当先頭アドレス	<input type="text"/>
同時接続許可数	<input type="text" value="1"/>
DNSサーバ	<input type="text"/>
ヘッダ圧縮	<input checked="" type="checkbox"/> VJ
無通信監視タイマ	<input type="text" value="0"/> 秒

[MP情報]

MP回線初期リンク数	<input type="text" value="1"/>	※コールバック応答時に有効
アナログ使用時縮退	<input type="radio"/> する <input type="radio"/> しない	
トラフィックによる増減	<input type="radio"/> しない	
	<input type="radio"/> する	
	回線使用率	猶予時間
	回線増加条件	回線削減条件
	90 %	10 秒
	40 %	60 秒
	※コールバック応答時またはBAP/BACP使用時に有効	
受信パケット順序制御	<input type="radio"/> する <input type="radio"/> しない	

[IPフィルタリング情報一覧]

優先順位	動作	プロトコル	送信元IPアドレス/マスク	送信元ポート番号	宛先IPアドレス/マスク	宛先ポート番号	TCP接続要求	修正/削除/移動
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="全削除"/>								

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

[基本情報]

相手情報で定義したどの相手とも判断できない着信相手に対する動作に関する情報を設定します。

割当先頭アドレス

着信相手に対して、割り当てる先頭のIPアドレスを指定します。同時接続許可数と組み合わせて範囲（許可数）を指定します。

割当先頭アドレスを省略する場合は、不特定相手からの着信は行われません。

同時接続許可数

割当先頭アドレスを先頭に、同時接続許可数分のIPアドレスが割り当てられます。

DNSサーバ

相手から要求があるときに、通知するDNSサーバのIPアドレスを設定します。

ヘッダ圧縮

送受信するパケットのヘッダ部分を圧縮する機能です。圧縮アルゴリズムは、VJヘッダ圧縮（RFC1144に準拠）をサポートします。使用する設定の場合も、実際にヘッダ圧縮を行うかどうかは、相手ホストとのネゴシエーションで決まります。

無通信監視タイマ

ISDN回線の無通信監視タイマを0～3600秒の範囲で設定します。その時間を超えても、通信が行われない場合は、ISDN回線を自動的に切断します。なお、0を設定する場合、自動切断を行いません。

[MP 情報]

MP（MultilinkPPP）の情報を設定します。

MP回線初期リンク数

回線接続時に接続するチャンネル数を指定します。

アナログ使用時縮退

MPで2本のチャンネルを使用している時に、アナログ電話がかかってきたり、アナログ電話の受話器を上げたりする場合に、チャンネルを1本に減らしてアナログ機器を使用することができます。これを行う場合は“する”をチェックします。

トラフィックによる増減

回線負荷に応じて帯域幅（1B,2B）を自動的にコントロールする機能を使用するかどうかを選択します。使用する場合は、回線増減の条件も指定します。指定する回線使用率を超える（削減の場合は下回った）状態が“猶予時間”以上続く時点で、回線の接続（削減の場合は切断）を行います。回線使用率は0～100%、猶予時間は0～3600秒の範囲で指定します。

受信バケット順序制御

MPを使用する場合は、必ず“する”をチェックします。“しない”をチェックすると、MPとヘッダ圧縮（VJ）を併用する場合にヘッダ圧縮（VJ）が無効になります。

[IPフィルタリング情報一覧]

現在、設定しているIPフィルタリング情報の一覧です。処理は優先順位1から順に行います。IPフィルタリングの定義は装置全体で32個まで設定できます。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。

IPフィルタリング情報（不特定相手情報）

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「相手情報」 [ネットワーク情報一覧]
[IPフィルタリング情報]

IPフィルタリング情報



動作	<input checked="" type="radio"/> 透過 <input type="radio"/> 透過(接続中のみ) <input type="radio"/> 遮断		
プロトコル	すべて <input type="text" value=""/> (番号指定: <input type="text" value=""/> “その他”を選択時のみ有効です)		
送信元情報	IPアドレス	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>
	アドレスマスク	0 (0.0.0.0) <input type="text" value=""/>	
	ポート番号[.]	<input type="text" value=""/>	
宛先情報	IPアドレス	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>
	アドレスマスク	0 (0.0.0.0) <input type="text" value=""/>	
	ポート番号[.]	<input type="text" value=""/>	
TCP接続要求	<input checked="" type="radio"/> 対象 <input type="radio"/> 対象外		

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

優先順位の高い定義より順にバケットのチェックを行い、すべての条件が一致する場合に定義された動作を行います。ただし、分割されたバケットに対しては正しく扱えません。

動作

IPフィルタリングの動作を以下の3つから選択します。

透過

条件と一致する場合にパケットを透過します。

透過（接続中のみ）

条件と一致する場合に、ISDN回線が接続しているときは、パケット透過します。切断しているときは、遮断します。

遮断

条件と一致する場合にパケットを遮断します。

プロトコル

フィルタリング条件としてプロトコルを以下の5つから選択します。

- ・すべて (0)
- ・ICMP (1)
- ・TCP (6)
- ・UDP (17)
- ・その他

“その他”を選択する場合、プロトコル番号を0～255の範囲の10進数で指定します。

送信元 / 宛先情報

IPアドレス / アドレスマスク

フィルタリング条件としてのIPアドレス、およびアドレスマスクを設定します。

チェック対象となるパケットのIPアドレスと定義するアドレスマスクの論理積と、定義するIPアドレスとアドレスマスクの論理積が等しい場合に条件に一致することになります。

ポート番号

フィルタリング条件としてポート番号を1～65535の範囲の10進数または‘any’で設定します。‘any’を設定する場合はすべてのポート番号をフィルタリングの対象とします。また、ポート番号を複数指定する場合は‘,’で区切ります。範囲指定の場合は‘-’で区切ります。送信元情報と宛先情報を合わせて10組まで設定できます。

TCP 接続要求

TCPプロトコルでのコネクション接続要求をフィルタリングの対象に含めるかどうかを設定します。

PPP 受諾認証情報

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「相手情報」 [受諾認証ID 情報一覧]

PPP受諾認証情報

[受諾認証情報] 

受諾認証ID	<input type="text"/>
受諾認証パスワード	<input type="password"/>

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

[受諾認証情報]

主に不特定相手からの着信時の認証に使用する情報です。

着信時に受け付ける相手の認証IDとパスワードをそれぞれ64桁以内で設定します。

4

装置情報設定

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「装置情報」

装置情報設定

タイムサーバ情報	システムログ情報	ファームウェア更新情報
オンラインサポート情報	留守モード情報	

[タイムサーバ情報] 

タイムサーバ	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する	
	プロトコル	<input checked="" type="radio"/> TIMEプロトコル <input type="radio"/> SNTP
	時刻サーバIPアドレス	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
	自動時刻設定間隔	<input type="text"/> 日 <input type="text"/>

[システムログ情報] 

システムログ送信	<input checked="" type="radio"/> 送信しない <input type="radio"/> 送信する	
	送信先ホスト	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>

[ファームウェア更新情報] 

転送元ホスト名	<input type="text"/>
ログインID	<input type="text"/>
ログインパスワード	<input type="text"/>
ファイルロケーション	<input type="text"/>

[オンラインサポート情報] **ISDN** 

オンラインサポート接続	<input type="radio"/> しない <input checked="" type="radio"/> する	
	センタ電話番号	<input type="text"/>
	暗証番号	<input type="text"/>

[留守モード情報] ?

動作	<input type="checkbox"/> 留守モード中は、スタンバイモードで動作する <input checked="" type="checkbox"/> 留守モード中は、メールを転送する <input type="checkbox"/> 留守モード中は、メールの一覧を送信する <input type="checkbox"/> 留守モード中は、TELメールを送信する <input type="checkbox"/> 着信転送
	<input type="radio"/> 留守モード中は、着信転送を行う <input type="radio"/> 留守モード中は、疑似着信転送を行う
	<input type="checkbox"/> 留守モード中は、アナログの留守確認機能を使用する <input type="checkbox"/> 留守モードを解除する時にメールチェックを行う

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

[タイムサーバ情報]

本装置は、ネットワーク上のタイムサーバから時刻情報を取得し、内部時計を自動的に設定できます。

タイムサーバ

使用しない

タイムサーバを使用せずに内部時計を設定します。

使用する

タイムサーバから時刻情報を取得します。以下の情報を設定します。

プロトコル

使用するプロトコルを選択します。

時刻サーバのIPアドレス

タイムサーバのIPアドレスを指定します。

自動時刻設定間隔

タイムサーバから定期的に時刻情報を取得するときの取得周期を0～10日の範囲で設定します。0を設定すると、起動（再起動）時だけ時刻情報を取得します。

[システムログ情報]

本装置は、syslog形式でシステムログサーバにシステムログ情報を送信します。

システムログ送信

送信しない

システムログを送信しません。

送信する

システムログサーバにシステムログ情報を送信する送信先の IP アドレスを設定します。

[ファームウェア更新情報]

ファームウェアを入れ替えたり、レベルアップを行うときに、転送元となるホストに接続するための情報を設定します。ファームウェアの更新操作はメンテナンスメニューから行うことができます。

転送元ホスト名

更新ファームウェアが存在するホスト名を半角英数字 128 文字以内で設定します。

ドット表記の IP アドレスを設定することもできます。通常は変更の必要はありません。

こんな事に気をつけて

ProxyDNS が設定されていない場合、ホスト名指定によるファームウェア更新はできません。

ログイン ID

ファームウェア更新用のログイン ID を 16 文字以内で設定します。通常は変更の必要はありません。

ログインパスワード

ファームウェア更新用のパスワードを 32 文字以内で設定します。通常は、本装置管理者のメールアドレスをここに記述します。

ファイルロケーション

更新用ファームウェアのロケーションを 80 文字以内で設定します。通常は変更の必要はありません。

[オンラインサポート情報]

オンラインサポート接続

オンラインサポート接続をするかどうかを指定します。センタ側からのオンラインサポート接続を許可する場合には“する”、拒否する場合には“しない”をチェックします。オンラインサポート接続を許可するときにセンタ電話番号と暗証番号のどちらも設定していない場合、LANポート用の MAC アドレスを認証に使用します。

センタ電話番号

オンラインサポートを受け付ける相手電話番号を 32 桁以内で指定します。

暗証番号

オンラインサポートを受け付ける相手との暗証番号を半角英数字 19 桁以内で指定します。



オンラインサポートとは

ISDN回線に接続した遠隔地（リモート側）の本装置を、管理者側（センター側）の本装置を使用して直接設定する機能です。本機能ではPPPによるIP接続を必要としないので、ご購入時の状態のまま、本装置を設定することができます。ただし、専用線（HSD）では使用できません。

以下の手順で設定を行うことができます。

- 1) WWW ブラウザを使用してセンター側の本装置のトップメニューを開きます。
- 2) 「メンテナンスメニュー」の「オンラインサポート」で、リモート側の電話番号と暗証番号を指定し、「オンラインサポート開始」ボタンをクリックします。
- 3) 正常に接続したあとは、センター側の本装置を設定するのと同様の手順でリモート側の設定を行うことができます。
- 4) 「メンテナンスメニュー」の「オンラインサポート」で、「オンラインサポート終了」ボタンをクリックしてオンラインサポートを終了します。

こんな事に気をつけて

- 本機能を使用して発信するにはINS ネット64の「ユーザ間情報通知サービス」を使用するため、1回の発信につき1メッセージ分の料金が通信料金とは別にかかります。
- オンラインサポート中は、ISDN 回線は接続されたままとなります。無通信監視タイマによる自動切断は行われません。設定終了後は必ずオンラインサポートを終了し回線が切断されたことを確認します。
- 暗証番号にはリモート側の本装置に設定された暗証番号を指定します。一致しない場合は接続できません。なお、リモート側の本装置がご購入時の状態、またはオンラインサポート情報未設定の場合は、暗証番号としてMACアドレスを指定することにより接続できます。MACアドレスは装置底面に表記されているとおり半角小文字の英数字で指定します。
- 本機能を利用する際には、センター側とリモート側に同一機種の本装置を使用します。ただし、製品名またはバージョンが異なる場合、設定できない項目もあります。

[留守モード情報]

留守モードに割り当てる動作を選択します。装置のアナログポートに接続されている電話機、操作メニュー、またはスケジュール機能により、留守モードの切替えができます。

スタンバイモードで動作する

留守モード中はスタンバイモードになります。

メールを転送する

メールチェックで取得するメールを転送します。

メールの一覧を送信する

メールチェックで取得するメールの一覧を送信します。

TEL メールを送信する

アナログポートに接続している電話機の着信履歴をメールで送信します。

着信転送

着信転送を行う

アナログポートに接続している電話機の着信を着信転送します。

疑似着信転送を行う

アナログポートに接続している電話機の着信を疑似着信転送します。

アナログの留守確認機能を使用する

外線から ON / OFF を確認できます。

解除する時にメールチェックを行う

留守モードを解除する時にメールチェックを行います。

パスワード情報設定

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「パスワード情報」

パスワード情報設定



新しいログインパスワード	<input type="password"/>
ログインパスワードの確認	<input type="password"/>

《設定以外のサービスについてもパスワードの問い合わせが必要な場合は以下のチェックをしてください。》

- 操作 (手動接続/切断、テレホーダイなどのISDN回線の運用)
- 表示 (課金情報、ルーティング情報などの運用情報の表示)
- メンテナンス (バージョン情報の表示、ファームウェア更新など)

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

本装置を操作するときのパスワードを半角英数字 16文字以内で指定します。パスワード入力によって操作の制限が解除される時間は10分間です。それ以降の操作ではあらためてパスワードが要求されます。

なお、パスワードは更新直後から有効になります。

操作メニュー、表示メニュー、メンテナンスメニューの操作に関しても、必要に応じてパスワードを有効に設定できます。

新しいログインパスワード

設定するログインパスワードを指定します。

ログインパスワードの確認

上で設定したパスワードと同じパスワードを指定します。

操作

チェックすると、操作メニューを使用する場合に上で設定したパスワードが有効になります。

表示

チェックすると、表示メニューを使用する場合に上で設定したパスワードが有効になります。

メンテナンス

チェックすると、メンテナンスメニューを使用する場合に上で設定したパスワードが有効になります。

Eメールエージェント情報設定

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「Eメールエージェント情報」

Eメールエージェント情報設定

メールチェック情報一覧
TELメール情報
メール着信通知情報

[メールチェック情報一覧] ?

	停止	ユーザ名	メール転送 一覧送信	確認時間	修正/削除
		追加		全削除	

[TELメール情報] **ISDN** ?

TELメール		<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない			
	アナログポート	メールアドレス	送信周期	修正/削除	
送信情報	アナログポート1	-	-	修正	削除
	アナログポート2	-	-	修正	削除

[メール着信通知情報] **ISDN** ?

メール着信通知		<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない	
サブアドレスチェック	<input type="radio"/> チェックしない		
	<input type="radio"/> 回線情報の自局番号でチェックする		
	<input type="radio"/> 以下の値でチェックする		
	サブアドレス	<input style="width: 100%;" type="text"/>	

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

更新
キャンセル

💡 ヒント

Eメールエージェント機能には以下の機能があります。

- ・メールチェック機能

メールチェックとは、POP3 プロトコルを使用して、指定時間にPOP3サーバにメールが到着しているかどうかを確認する機能です。メールが到着していれば、メールの件数、差出人、題名、送信時刻を取得します。
- ・メール転送機能

指定時刻になるとPOP3サーバに到着しているメールを指定したメールアドレスに転送する機能です。
- ・メール一覧送信機能

指定時刻になるとPOP3サーバに到着しているメールの一覧情報を指定したメールアドレスに転送する機能です。

- ・TELメール機能

アナログポートの着信履歴を着信ごとまたは一定時間ごとにメールで送信する機能です。

- ・メール着信通知機能

メールが到着したことを通知する機能です。プロバイダの“インターネットメールの自動着信通知サービス”を利用します。プロバイダから受信者あてにメールの着信通知を発信し、メールが到達したことを利用者端末に伝えるサービスです。

こんな事に気をつけて

メール着信通知機能を使用するには、プロバイダが“インターネットメールの自動着信通知サービス”をサポートしている必要があります。

[メールチェック情報一覧]

現在、設定しているメールチェック情報の一覧です。メールチェック情報は10個まで設定できます。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。

こんな事に気をつけて

同時刻に複数のメールチェックを実行した場合、メールチェックの実行が多少ずれる場合があります。

停止

メールチェックを一時的に停止する場合は、“停止”をチェックします。

[TELメール情報]

TELメール

アナログポートの着信履歴を着信ごと、または一定時間ごとにメールで送信します。

使用する

着信履歴をメールで送信します。

使用しない

着信履歴をメールで送信しません。

送信情報

現在、指定しているTELメール情報の一覧です。TELメール情報はアナログポートごとに設定できます。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。

[メール着信通知情報]

メール着信通知

プロバイダから受信者あてにメールの着信通知を発信し、メールが到着したことを利用者端末に伝えるサービスです。

使用する

メール着信通知を使用します。

使用しない

メール着信通知を使用しません。

サブアドレスチェック

プロバイダから通知されるメール着信通知を、サブアドレスにより制限できます。

チェックしない

すべてのサブアドレスでメール着信通知を受けつけます。

回線情報の自局番号でチェックする

回線情報の自局番号チェックの定義にしたがいます。この場合は、自局番号チェックで許可されないサブアドレスを含むメール着信通知は無視します。

以下の値でチェックする

指定したサブアドレスを含むメール着信通知だけを受けつけます。サブアドレスを半角英数字19文字以内で指定します。

メールチェック情報設定

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「Eメールエージェント情報」 [メール
チェック情報一覧]

メールチェック情報設定

[メールチェック情報](#)
[メール転送/一覧送信情報](#)
[メール転送条件](#)

[メールチェック情報] 

ユーザ名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
POP3サーバ	ホスト名 <input type="text"/> ポート番号 <input type="text"/> 番
確認時間	<input checked="" type="radio"/> 時刻で指定 <input type="text"/> 毎 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 <input type="text"/> 毎 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 <input type="text"/> 毎 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 <input type="radio"/> 間隔で指定 <input type="text"/> 分
APOP認証	<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない
リモートメールチェックID	<input type="text"/>

[メール転送/一覧送信情報] 

転送/一覧送信	<input type="checkbox"/> メールを転送する <input type="checkbox"/> メール一覧を送信する
SMTPサーバ	ホスト名 <input type="text"/> ポート番号 <input type="text"/> 番
宛先メールアドレス	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="全削除"/>
差出人変更	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する 差出人メールアドレス <input type="text"/>
転送サイズ指定	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する 本文が半角で、約 <input type="text"/> 文字以内 <small>《メールを転送する場合のみ有効です》</small>
一覧形式	<input checked="" type="radio"/> 1件を複数行で送信 <input type="radio"/> 1件を1行で送信 <small>《メール一覧を送信する場合のみ有効です》</small>

[メール転送条件] 

動作 全て転送する 条件に従う

条件 以下の条件を満たさない場合は転送する
 以下の条件を満たさない場合は転送しない

優先順位 条件 転送 修正/削除/移動

追加 全削除

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

更新 キャンセル

[メールチェック情報]

メールチェックとは、POP3 プロトコルを使用して、指定時間になると POP3 サーバにメールが到着しているかどうかを確認する機能です。メールが到着していれば、メールの件数、差出人、題名、送信時刻を取得します。

こんな事に気をつけて

- ・ 指定時間になると、回線を自動接続します。あらかじめ相手情報を設定します。
- ・ POP3サーバがPOP3のオプションコマンド (UIDL, TOP) を実装していない場合はメール件数だけ取得します。

ユーザ名

POP3サーバにアクセスするためのユーザ名を 32 文字以内で指定します。

パスワード

POP3サーバにアクセスするためのパスワードを 32 文字以内で指定します。

POP3 サーバ

ホスト名には POP3 サーバ名、または POP3 サーバの IP アドレスを 80 文字以内で指定します。ポート番号は必要に応じて変更します。

確認時間

POP3サーバにメールの到着を確認する時間を、時刻または間隔で指定します。間隔で指定する場合は、5分～30日の範囲で指定します。

APOP 認証

POP3サーバとの認証を APOP で行う場合は、“使用する”をチェックします。

こんな事に気をつけて

APOP認証を使用する場合は、POP3 サーバがAPOP 認証をサポートしている必要があります。

リモートメールチェックID

リモートメールチェックIDを半角英数字19文字以内で指定します。

このIDをサブアドレスとして本装置に電話をかけると、遠隔地からメールチェック、メール転送、メール一覧送信を実行できます。

[メール転送 / 一覧送信情報]

メール転送とは、メールチェックで取得するメールを指定する宛先メールアドレスに転送する機能です。

メール一覧送信とは、メールチェックで取得するメールの送信時刻 (Date)、差出人 (From)、題名 (Subject) の一覧を指定の宛先メールアドレスに送信する機能です。

- ・1回のメールチェックで転送できるメール件数は、1ユーザにつき50件までです。
- ・転送できるメールの文字数は半角で約6144文字、行数は200行以内 (どれも本文だけ) です。このサイズを超える部分は切り捨てられます。
- ・サイズを超えるメールがマルチパートで構成されている場合は、「転送できないサイズのメールが届いています。」というメールを送信します。

こんな事に気をつけて

複数の接続先を使用していると別プロバイダ経由でSMTPサーバを使用することがあり、SPAMなどの不正メール対策のためにメールの送信が行えない場合があります。

プロバイダによっては、別プロバイダ経由でもPOPの認証を行った後であればメールの送信を行うことができる場合があります。

詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

転送 / 一覧送信

使用する機能をチェックします。

SMTPサーバ

ホスト名にはSMTPサーバ名またはSMTPサーバのIPアドレスを80文字以内で指定します。

ポート番号は必要に応じて変更します。

宛先メールアドレス

宛先メールアドレス (To) を半角80文字以内で指定します。

宛先メールアドレスは、5個まで設定できます。

差出人変更

SMTP サーバの差出人制限によりメールの転送、一覧送信が行えない場合があります。この場合は、差出人を変更することによりメールの転送、一覧送信ができるようになります。

差出人メールアドレスを変更する場合は、“する”をチェックして、差出人メールアドレスを設定します。

差出人メールアドレスを変更する場合、ここで指定する差出人メールアドレスを使用して、メールの転送、一覧送信を行います。

差出人メールアドレス

差出人メールアドレスを半角80文字以内で指定します。

転送サイズ指定

転送するメールのサイズを1～6144文字の範囲で指定します。

一覧形式

送信するメール一覧の形式をチェックします。

[メール転送条件]

動作

メール転送条件を指定する場合、“条件に従う”をチェックして条件を指定します。

条件

現在、指定しているメール転送条件の一覧です。転送条件は装置全体で40個まで指定できます。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。また、条件を満たさない場合の動作はここで設定します。

宛先メールアドレス設定

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「Eメールエージェント情報」 [メール
チェック情報一覧] [メール転送/一覧送信情報]

宛先メールアドレス設定



メールアドレス

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

宛先メールアドレス

宛先メールアドレス (To) を半角80文字以内で設定します。

宛先メールアドレスは、5個まで設定できます。

4

条件設定

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「Eメールエージェント情報」 [メール
チェック情報一覧] [メール転送条件]

条件設定



転送	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
条件	差出人に <input type="text"/> が含まれる または、
	宛先に <input type="text"/> が含まれる または、
	題名に <input type="text"/> が含まれる

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

転送

条件を満たす場合にメールを転送するかどうかを設定します。

条件

差出人 (From)・宛先 (To)・題名 (Subject) を転送条件として設定できます。

それぞれ半角40文字以内 (全角20文字以内) で設定します。

TEL メール情報設定

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「Eメールエージェント情報」 [TELメール情報]

TELメール情報設定

《メール送信を行う前にPOP認証を行う必要がある場合は、認証情報の設定を行ってください》

[アナログポート1] ?

宛先メールアドレス	<input type="text"/>				
差出人メールアドレス	<input type="text"/>				
SMTPサーバ	ホスト名 <input type="text"/>				
	ポート番号 <input type="text" value="25"/>				
認証情報	<input checked="" type="radio"/> POP認証しない <input type="radio"/> POP認証する				
	ユーザ名 <input type="text"/> パスワード <input type="password"/>				
	POP3サーバ <table style="display: inline-table; vertical-align: top; margin-left: 10px;"> <tr><td>ホスト名</td><td><input type="text"/></td></tr> <tr><td>ポート番号</td><td><input type="text" value="110"/> 番</td></tr> </table>	ホスト名	<input type="text"/>	ポート番号	<input type="text" value="110"/> 番
	ホスト名	<input type="text"/>			
	ポート番号	<input type="text" value="110"/> 番			
APOP認証 <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない					
<input type="text"/>					
送信周期	<input checked="" type="radio"/> 着信毎 <input type="radio"/> 一定周期 <input type="text"/> 分 <input type="text"/> 毎				
送信情報	<input checked="" type="radio"/> 発信者番号と着信番号を送信する <input type="radio"/> 発信者番号のみ送信する				

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

TELメールとは、アナログポートの着信履歴を着信ごと、または一定時間ごとにメールで送信する機能です。

こんな事に気をつけて

- メール送信時には回線を自動接続します。あらかじめ相手情報を設定します。
- TELメールの開始がメールチェックとかさなる場合、TELメールの実行が多少ずれる場合があります。

[アナログポート 1,2]

宛先メールアドレス

宛先メールアドレス (To) を半角80文字以内で指定します。

差出人メールアドレス

差出人メールアドレス (From) を半角80文字以内で指定します。

SMTP サーバ

ホスト名にはSMTPサーバ名またはSMTPサーバのIPアドレスを80文字以内で指定します。

ポート番号は必要に応じて変更します。

認証情報

TELメールの送信を行う前にPOP認証を行う場合は、“POP認証する”をチェックします。

こんな事に気をつけて

複数の接続先を使用していると別プロバイダ経由でSMTPサーバを使用することがあり、SPAMなどの不正メール対策のためにメールの送信が行えない場合があります。

プロバイダによっては、別プロバイダ経由でもPOPの認証を行った後であればメールの送信を行うことができる場合があります。

詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

ユーザ名

POP3サーバにアクセスするためのユーザ名を32文字以内で指定します。

パスワード

POP3サーバにアクセスするためのパスワードを32文字以内で指定します。

POP3 サーバ

ホスト名にはPOP3サーバ名またはPOP3サーバのIPアドレスを80文字以内で指定します。

ポート番号は必要に応じて変更します。

APOP 認証

POP3サーバとの認証をAPOPで行う場合は、“使用する”をチェックします。

こんな事に気をつけて

APOP認証を使用する場合は、POP3サーバがAPOP認証をサポートしている必要があります。

送信周期

着信履歴をメールで送信するタイミングを、着信ごとまたは一定周期で指定します。一定周期で指定する場合は、5分～7日の範囲で指定します。

送信情報

メールで送信する着信履歴の情報を選択します。

こんな事に気をつけて

- TELメールの送信情報を「発信者番号のみ送信する」に設定している場合、発信者番号が非通知になっている電話からの着信履歴は送信されません。
- TELメールの送信情報を「発信者番号と着信番号を送信する」に設定している場合、発信者番号と着信番号のどちらも有効な情報がないときは、TELメールによる着信履歴は送信されません。
- TELメール（本文）の着信番号は以下のように設定されます。
 - ダイアルインサービスおよびi・ナンバーサービスを利用しない場合
回線から着信番号が通知されないため、TELメールの情報に着信番号は含まれません。「アナログ共通情報」の「網契約に関連する設定項目」の「電話番号」に電話番号を設定していれば、この番号がTELメールの着信番号として送信されます。
 - ダイアルインサービスを利用している場合
回線から通知された着信番号（ダイヤルイン番号）がTELメールの着信番号として送信されます。ただし、グローバル着信を利用している場合、契約者番号にかかってくると回線から着信番号が通知されません。このとき、「アナログ共通情報」の「網契約に関連する設定項目」の「電話番号」に電話番号を設定していれば、この番号がTELメールの着信番号として送信されます。
 - i・ナンバーサービスを利用している場合
「鳴り分け1」、「鳴り分け2」、または「鳴り分け3」がTELメールの着信番号として送信されます。ただし、「アナログ共通情報」の「網契約に関連する設定項目」の「鳴り分け番号1/2/3」に電話番号を設定していれば、この番号がTELメールの着信番号として送信されます。

ProxyDNS 情報

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「ProxyDNS 情報」

ProxyDNS情報

このページではProxyDNSとURLフィルタの設定ができます。URLフィルタは順引き情報で設定します。

[順引き情報](#) [逆引き情報](#)

[順引き情報一覧] ?

優先順位	ドメイン名 タイプ	動作	DNSサーバアドレス/ ネットワーク名	修正/削除/移動
	送信元IPアドレス/ マスク			
追加		全削除		

[逆引き情報一覧] ?

優先順位	ネットワークアドレス	動作	DNSサーバアドレス/ ネットワーク名	修正/削除/移動
追加		全削除		

更新した情報は、設定反映後に有効になります。

< エメールエージェント情報へ
ホストデータベース情報へ >

💡 ヒント

ProxyDNS には以下の機能があります。

- ・ DNS サーバの自動切替え機能

パソコンに本装置のIPアドレスをDNSサーバとして登録しておく、接続先によって問い合わせるDNSサーバを自動的に切り替えます。
- ・ DNS サーバ機能

ホストデータベース情報にホスト名とIPアドレスのペアを登録しておく、ProxyDNSは該当ホスト名へのアクセスを登録されたIPアドレスへのアクセスとして切り替えます。
- ・ URL フィルタ機能

特定のドメイン名（範囲指定も可）へのアクセスを禁止することができます。この機能は順引き情報設定にて設定します。
- ・ 問い合わせタイプフィルタ機能

送信元IPアドレス範囲から送信される特定の問い合わせのタイプのDNSパケットを破棄することができます。この機能は順引き情報設定にて設定します。

[順引き情報一覧]

現在、設定している順引き情報の一覧です。順引き情報はドメイン名によりDNSサーバを切り替える範囲を指定する場合、特定ドメイン名へアクセスを禁止する場合、送信元IPアドレス範囲からの特定の問い合わせタイプのDNSパケットを破棄する場合など、ドメイン名・問い合わせタイプ・送信元IPアドレス/マスクの組み合わせによりいろいろな使い方ができます。32個まで定義できます。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。

[逆引き情報一覧]

現在、設定している逆引き情報の一覧です。逆引き情報はIPアドレスによりDNSサーバを切り替える範囲を指定する場合に使用します。32個まで定義できます。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。

ProxyDNS 情報設定（順引き）

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「ProxyDNS情報」 [順引き情報一覧]

ProxyDNS情報設定(順引き)

URLフィルタ機能を使用する場合は、ドメイン名に対象URLを指定し、動作で廃棄するを選択します。

ドメイン名		<input type="text"/>
タイプ		すべて (番号指定 <input type="text"/> “その他”を選択時のみ有効です。)
送信元情報	IPアドレス	<input type="text"/>
	アドレスマスク	0 (0.0.0.0)
動作		<input checked="" type="radio"/> 廃棄する <input type="radio"/> 接続先のDNSサーバへ問い合わせる ネットワーク名 <input type="text"/> <input type="radio"/> 設定したDNSサーバへ問い合わせる DNSサーバアドレス <input type="text"/>

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

ドメイン名

対象とするドメイン名の範囲を半角英数字80文字以内で指定します。範囲指定には、以下のように、「*」または「?」が使用できます。なお、ドメイン名のチェックには大文字/小文字の区別はありません。

「*」: 0文字以上の任意の文字に一致します。

「?」: 1文字の任意文字に一致します。

《例》

条件：

www.*.com

一致：

www.testa.com
www.test1.test.com

条件：

test

一致：

www.test.com
test.com
test.co.jp

条件：

www.test?.com

一致：

www.test1.com

www.test2.com

www.testA.com

タイプ

対象とする問い合わせタイプを以下の5つから選んでください。

- ・すべて (PTRを除く)
- ・A (1)
- ・SOA (6)
- ・SRV (33)
- ・その他

“その他”を選択する場合、問い合わせタイプを1～11、13～65535の範囲の10進数で指定します。

送信元IPアドレス/マスク

フィルタリング条件として送信元IPアドレスとアドレスマスクを設定します。チェック対象となるバケットのIPアドレスマスクと定義するアドレスマスクの論理積と、定義するIPアドレスとアドレスマスクの論理積が等しい場合に条件に一致することになります。

動作

対象ドメインに対する動作を指定します。以下の3つの動作から選択します。

廃棄する

該当ドメインの転送を無効にするフィルタを設定します。URLフィルタとして利用する場合に指定します。

接続先のDNSサーバへ問い合わせる

接続先情報で設定したDNSサーバへ問い合わせます。どのネットワークで使用するかを指定します。指定したネットワークに複数の接続先が登録されている場合は、マルチルーティングと優先順位に従って接続先を決定します。

設定したDNSサーバへ問い合わせる

特定のDNSサーバへ問い合わせます。問い合わせるDNSサーバのIPアドレスを指定します。

ProxyDNS 情報設定（逆引き）

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「ProxyDNS 情報」 [逆引き情報一覧]

ProxyDNS情報設定(逆引き)

IPアドレス	<input type="text"/>
アドレスマスク	0 (0.0.0.0)
動作	<input checked="" type="radio"/> 廃棄する
	<input type="radio"/> 接続先のDNSサーバへ問い合わせる ネットワーク名 <input type="text"/>
	<input type="radio"/> 設定したDNSサーバへ問い合わせる DNSサーバアドレス <input type="text"/>

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

IPアドレス/アドレスマスク

対象とするネットワークの範囲を IP アドレスとアドレスマスクの組み合わせで指定します。

動作

対象ドメインに対する動作を指定します。以下の3つの動作から選択します。

廃棄する

該当ネットワークの転送を無効にするフィルタを設定します。

接続先のDNSサーバへ問い合わせる

接続先情報で設定された DNS サーバへ問い合わせます。どのネットワークで使用するかを指定します。指定したネットワークに複数の接続先が登録されている場合は、マルチルーティングと優先順位に従って接続先を決定します。

設定したDNSサーバへ問い合わせる

特定の DNS サーバへ問い合わせます。問い合わせる DNS サーバの IP アドレスを指定します。

ホストデータベース情報

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「ホストデータベース情報」

ホストデータベース情報					
	ホスト名	IPアドレス	MACアドレス	Wake-up-ID	修正/削除
1	-	-	-	-	修正 削除
2	-	-	-	-	修正 削除
3	-	-	-	-	修正 削除
4	-	-	-	-	修正 削除
5	-	-	-	-	修正 削除
6	-	-	-	-	修正 削除
7	-	-	-	-	修正 削除
8	-	-	-	-	修正 削除
9	-	-	-	-	修正 削除
10	-	-	-	-	修正 削除
11	-	-	-	-	修正 削除
12	-	-	-	-	修正 削除
13	-	-	-	-	修正 削除
14	-	-	-	-	修正 削除
15	-	-	-	-	修正 削除
16	-	-	-	-	修正 削除
17	-	-	-	-	修正 削除
18	-	-	-	-	修正 削除
19	-	-	-	-	修正 削除
20	-	-	-	-	修正 削除
21	-	-	-	-	修正 削除
22	-	-	-	-	修正 削除
23	-	-	-	-	修正 削除
24	-	-	-	-	修正 削除
25	-	-	-	-	修正 削除
26	-	-	-	-	修正 削除
27	-	-	-	-	修正 削除
28	-	-	-	-	修正 削除
29	-	-	-	-	修正 削除
30	-	-	-	-	修正 削除
31	-	-	-	-	修正 削除

32	-	-	-	-	修正	削除
全削除						
更新した情報は、設定反映後に有効になります。						
設定反映						
< ProxyDNS/URLフィルタ情報へ				スケジュール情報へ >		

現在、登録しているホストデータベース情報の一覧です。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。

ヒント

ホストデータベースには以下の機能があります。

- ・ DNS サーバ機能
「ホスト名」「IP アドレス」のペアを登録することにより、ProxyDNSのDNSサーバ機能を使用することができます。
- ・ リモートパワーオン機能
「MAC アドレス」「Wake-up-ID」のペアを登録することにより、Wakeup on LAN 機能を使用することができます。
- ・ DHCP スタティック機能
「IP アドレス」「MAC アドレス」のペアを登録することにより、DHCPで割り当てられるIPアドレスを端末固有のものとするすることができます。

ホストデータベース情報設定

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「ホストデータベース情報」 「ホストデータベース情報」

ホストデータベース情報設定

ホスト名	<input type="text"/>
IPアドレス	<input type="text"/>
MACアドレス	<input type="text"/>
Wake-up-ID	<input type="text"/>

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

ホスト名

DNS サーバ機能で使用します。80文字以内で設定します。使用する文字は半角のアルファベット・数字・ハイフン・ピリオドだけで、その他の記号は使用できません。

IPアドレス

DNS サーバ機能およびDHCPスタティック機能で使用します。

MACアドレス

DHCP スタティック機能およびリモートパワーオン機能で使用します。MACアドレスは以下の形式で設定します。

xx:xx:xx:xx:xx:xx (xxは2桁の16進数)

Wake-up-ID

本装置は、ISDN 接続を契機にして、本装置と同じセグメント上に存在する Magic Packet 対応システムの電源を投入することができます。リモートパワーオン機能使用時に、Magic Packet を受信する LAN 機器の識別 ID を半角英数字 19 文字以内で設定します。

スケジュール情報

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「スケジュール情報」

スケジュール情報

このページでは、スケジュール予約情報を設定できます。発着信の制御や課金情報のクリアを定期的に行うように設定できます。また、指定した日に接続先の電話番号などを変更することができます。

 スケジュール機能を使用する際には、正しい時刻が設定されているか確認してください。現在の時刻は **Thu Jan 11 2:01:58 1970** です。

[月間／週間予約](#) [電話番号変更予約](#)

[月間／週間予約一覧]



動作	予約時刻	終了時刻	周期	修正／削除
1 課金情報クリア	00:00	-	毎週金曜	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
2 -	-	-	-	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
3 -	-	-	-	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
4 -	-	-	-	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
5 -	-	-	-	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
6 -	-	-	-	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
7 -	-	-	-	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
8 -	-	-	-	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
9 -	-	-	-	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
10 -	-	-	-	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
11 -	-	-	-	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
12 -	-	-	-	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
13 -	-	-	-	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
14 -	-	-	-	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
15 -	-	-	-	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
16 -	-	-	-	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
<input type="button" value="全削除"/>				

[電話番号変更予約一覧] 

	実行日時	電話番号変更情報	修正/削除	
1	-	-	修正	削除
2	-	-	修正	削除
3	-	-	修正	削除
4	-	-	修正	削除

更新した情報は、設定反映後に有効になります。

[月間 / 週間予約一覧]

現在、設定している月間または週間の予約一覧です。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。

[電話番号変更予約一覧]

現在、設定している電話番号変更の予約一覧です。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。

こんな事に気をつけて

スケジュール機能を使用する前に、必ず本装置の時刻設定を操作メニューから行います。

月間 / 週間予約設定

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「スケジュール情報」 [月間 / 週間予約一覧]

月間 / 週間予約設定



動作	<input type="text" value="発信抑止"/>	
予約時刻	<input type="text" value=""/> : <input type="text" value=""/>	<input checked="" type="radio"/> 毎日 <input type="radio"/> 毎週 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> 月曜日 <input type="checkbox"/> 火曜日 <input type="checkbox"/> 水曜日 <input type="checkbox"/> 木曜日 <input checked="" type="checkbox"/> 金曜日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="radio"/> 毎月 <input type="text" value=""/> 日
終了時刻	<input type="text" value=""/> : <input type="text" value=""/>	

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

動作

以下の中から予約する処理動作を選択します。

- ・発信抑止
- ・着信抑止
- ・テレホーダイ
- ・課金情報クリア
- ・強制切断
- ・スタンバイモードへ移行
- ・スタンバイモードを解除
- ・留守モードへ移行
- ・留守モードを解除

予約時刻

選択する動作を実行（開始）する時刻と実行周期を設定します。

終了時刻

選択する動作を終了する時刻を設定します。動作として発信抑止、着信抑止、テレホーダイを選択する場合にだけ設定できます。ここで予約時刻よりも早い時刻を指定すると、それは翌日の時刻になります。

電話番号変更予約設定

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「スケジュール情報」 [電話番号変更予約一覧]

電話番号変更予約設定



実行日時	<input type="text" value="年"/> 年 <input type="text" value="月"/> 月 <input type="text" value="日"/> 日 <input type="text" value="時"/> 時 <input type="text" value="分"/> 分			
電話番号 変更情報	変更前1	<input type="text"/>	変更後1	<input type="text"/>
	変更前2	<input type="text"/>	変更後2	<input type="text"/>
	変更前3	<input type="text"/>	変更後3	<input type="text"/>
	変更前4	<input type="text"/>	変更後4	<input type="text"/>

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

全構成定義情報で定義している電話番号について、指定時刻に電話番号の変更ができます。

こんな事に気をつけて

指定時刻になると自動的に再起動され電話番号が変更されます。そのとき、データ通信 / 電話を使用中の場合は、回線が切断されます。

実行日時

電話番号を変更する日時を西暦で指定します。

電話番号変更情報

変更前と変更後の電話番号をそれぞれ32桁以内で指定します。

マルチTA 情報

【操作】「詳細設定メニュー」 ルータ設定「マルチTA情報」

マルチTA情報 ISDN

マルチTAの使用	<input type="radio"/> 使用しない <input checked="" type="radio"/> 使用する
同時アクセス数	2
アクセス制限	<input checked="" type="radio"/> 全て許可する <input type="radio"/> 下記のパソコンのみ許可する <div style="margin-left: 20px;"> IPアドレス <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> アドレスマスク 0 (0.0.0.0) </div>
強制切断タイマ	10 時間

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

この機能は、LANに接続するパソコンから仮想ダイヤルアップアダプタを通じてISDNのBチャンネルへダイレクトに接続できるサービスです。

こんな事に気をつけて

パソコン側は、Microsoft Windows[®]のダイヤルアップネットワークにおけるVPN（仮想プライベートネットワーク）機能を使用します。

マルチTAの使用

マルチTAを使用するかどうかを選択します。

使用しない

マルチTAを使用しません。以下の設定は無効となります。

使用する

マルチTAを使用します。以下の項目を設定します。

同時アクセス数

マルチTAとして使用するISDNのBチャンネルの数を設定します。

アクセス制限

全て許可する

すべてのパソコンが利用できます。

下記のパソコンのみ許可する

定義する IP アドレスとアドレスマスクの論理積に一致するパソコンだけ利用できます。

強制切断タイマ

データ通信時の強制切断タイマを 0 ~ 24 時間の範囲で設定します。

0 を設定する場合は、切断を行いません。

こんな事に気をつけて

- ブラウザ画面からの強制切断操作ではマルチ TA 接続は切断されません。ダイヤルアップネットワークの切断操作を行います。
- スケジュールによる発呼抑止 / 強制切断はマルチ TA 接続では無効です。

アナログ共通情報

【操作】「詳細設定メニュー」 アナログ設定「アナログ共通情報」

アナログ共通情報 ISDN

このページでは、アナログポート1,2に共通する情報を設定できます。

[網契約関連設定](#)
[装置動作設定](#)

[網契約に関連する設定項目] ?

電話番号	<input style="width: 95%;" type="text"/>												
フレックスホン	<input checked="" type="radio"/> フレックスホン <input type="radio"/> 疑似フレックスホン <div style="margin-top: 5px;"> <input type="text" value="三者通話"/> <input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する <input type="text" value="通信中転送"/> <input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する </div>												
着信転送	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 着信転送 <input type="radio"/> 疑似着信転送 <table style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <tr><td style="width: 70%;">契約者番号の転送先</td><td><input style="width: 95%;" type="text"/></td></tr> <tr><td>ポート1のダイヤルインの転送先</td><td><input style="width: 95%;" type="text"/></td></tr> <tr><td>ポート2のダイヤルインの転送先</td><td><input style="width: 95%;" type="text"/></td></tr> <tr><td>鳴り分け番号1の転送先</td><td><input style="width: 95%;" type="text"/></td></tr> <tr><td>鳴り分け番号2の転送先</td><td><input style="width: 95%;" type="text"/></td></tr> <tr><td>鳴り分け番号3の転送先</td><td><input style="width: 95%;" type="text"/></td></tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※グローバル着信ありの場合の転送先は契約者番号の転送先に設定してください</p> <div style="margin-top: 5px;"> <input type="text" value="転送元トーク"/> <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし <input type="text" value="転送トーク"/> <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※疑似着信転送を使用する場合、転送元/転送トークの指定は無効になります</p>	契約者番号の転送先	<input style="width: 95%;" type="text"/>	ポート1のダイヤルインの転送先	<input style="width: 95%;" type="text"/>	ポート2のダイヤルインの転送先	<input style="width: 95%;" type="text"/>	鳴り分け番号1の転送先	<input style="width: 95%;" type="text"/>	鳴り分け番号2の転送先	<input style="width: 95%;" type="text"/>	鳴り分け番号3の転送先	<input style="width: 95%;" type="text"/>
契約者番号の転送先	<input style="width: 95%;" type="text"/>												
ポート1のダイヤルインの転送先	<input style="width: 95%;" type="text"/>												
ポート2のダイヤルインの転送先	<input style="width: 95%;" type="text"/>												
鳴り分け番号1の転送先	<input style="width: 95%;" type="text"/>												
鳴り分け番号2の転送先	<input style="width: 95%;" type="text"/>												
鳴り分け番号3の転送先	<input style="width: 95%;" type="text"/>												
i・ナンバー	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する <div style="margin-top: 5px;"> <p>[i・ナンバー情報1]</p> <table style="width: 100%;"> <tr><td style="width: 70%;">鳴り分け番号1</td><td><input style="width: 95%;" type="text"/></td></tr> <tr><td>動作モード</td><td><input style="width: 95%;" type="text" value="ポート1のみ着信"/></td></tr> </table> <p>[i・ナンバー情報2]</p> <table style="width: 100%;"> <tr><td style="width: 70%;">鳴り分け番号2</td><td><input style="width: 95%;" type="text"/></td></tr> <tr><td>動作モード</td><td><input style="width: 95%;" type="text" value="ポート2のみ着信"/></td></tr> </table> <p>[i・ナンバー情報3]</p> <table style="width: 100%;"> <tr><td style="width: 70%;">鳴り分け番号3</td><td><input style="width: 95%;" type="text"/></td></tr> <tr><td>動作モード</td><td><input style="width: 95%;" type="text" value="両ポート着信"/></td></tr> </table> </div>	鳴り分け番号1	<input style="width: 95%;" type="text"/>	動作モード	<input style="width: 95%;" type="text" value="ポート1のみ着信"/>	鳴り分け番号2	<input style="width: 95%;" type="text"/>	動作モード	<input style="width: 95%;" type="text" value="ポート2のみ着信"/>	鳴り分け番号3	<input style="width: 95%;" type="text"/>	動作モード	<input style="width: 95%;" type="text" value="両ポート着信"/>
鳴り分け番号1	<input style="width: 95%;" type="text"/>												
動作モード	<input style="width: 95%;" type="text" value="ポート1のみ着信"/>												
鳴り分け番号2	<input style="width: 95%;" type="text"/>												
動作モード	<input style="width: 95%;" type="text" value="ポート2のみ着信"/>												
鳴り分け番号3	<input style="width: 95%;" type="text"/>												
動作モード	<input style="width: 95%;" type="text" value="両ポート着信"/>												

[装置の動作に関連する設定項目] 

設定変更用暗証番号	<input type="text"/>
留守状態設定	<input checked="" type="radio"/> 在宅 <input type="radio"/> 留守
留守確認用番号	<input type="text"/>
ダイヤル桁間タイマ	5秒 <input type="button" value="▼"/>
フッキング時間	<input type="radio"/> 早い <input checked="" type="radio"/> 標準 <input type="radio"/> 遅い
#機能ボタン使用	<input checked="" type="radio"/> する(1回入力) <input type="radio"/> する(2回入力) <input type="radio"/> しない
外線リング音	リング音1 <input type="button" value="▼"/>
内線リング音	リング音2 <input type="button" value="▼"/>

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

[網契約に関連する設定項目]

ISDN回線加入契約の内容に関する情報を設定します。

電話番号

自局の電話番号を半角数字32桁以内で指定します。区切り文字として、-、(、)を使用します。この番号は、発信者番号通知機能を使用する場合、アナログ発信時に網に通知します。また、着信時に網が自局番号を通知しない場合、当番号をシステムログで表示します。

フレックスホン

フレックスホン

フレックスホンを使用するにはNTTと契約する必要があります。

疑似フレックスホン

疑似フレックスホン機能を使用します。疑似フレックスホン機能を使用すると、NTTとの契約がなくても疑似的にフレックスホン(三者通話、通信中転送)を利用できます。

三者通話

通話中にその通話を保留して、別の相手に電話をかけることができます。同時に三者で通話することもできます。

通信中転送

通話中に別の相手に電話を転送することができます。

着信転送

かかってきた電話を、契約者番号またはダイヤルイン番号、または鳴り分け番号ごとに別の電話に自動で転送することができます。転送先電話番号を32桁以内で指定します。区切り文字として、-、(、)を使用します。

使用しない

着信転送を行いません。

着信転送

着信転送を使用するにはNTTと契約する必要があります。

着信転送を使用する場合に、以下の「転送元トーク」を流すかどうかを指定します。

「電話が転送されます。」など

着信転送を使用する場合に、以下の「転送トーク」を流すかどうかを指定します。

「ただいま電話を転送しますので、そのままお待ちください。」など

疑似着信転送

疑似着信転送機能を使用して着信転送を行います。疑似着信転送機能を使用すると、NTTとの契約がなくても疑似的に着信転送を利用できます。

i・ナンバー

本装置の背面のTEL1、TEL2に接続しているアナログ機器を鳴り分けることができます。

i・ナンバーを使用するにはNTTと契約する必要があります。

使用しない

i・ナンバーを使用しません。

使用する

i・ナンバーを使用します。鳴り分け番号および動作モードを指定します。

鳴り分け番号1には、契約者番号を半角数字32桁以内で指定します。鳴り分け番号2、3には、iナンバーサービス契約時に通知する契約者番号以外の番号を半角数字32桁以内で指定します。

[装置の動作に関連する設定項目]

本装置につなぐアナログ機器を利用する場合、その接続機器の動作に関する情報を設定します。

設定変更用暗証番号

外線からの設定変更時に使用する暗証番号を0～9までの数字4桁で設定します。

留守状態設定

「在宅」または「留守」を選択します。

「留守」を設定する場合、外線からサブアドレス（留守確認用番号）つき発信することで、無課金で留守状態を確認できます。留守確認用番号の設定が必要です。

留守確認用番号

外線からの留守状態確認時に使用する確認用番号を0～9までの数字4桁で設定します。

ダイヤル桁間タイマ

アナログポートに接続する電話やFAXからダイヤルするときに、最後のダイヤル入力からINSネット64に発信するまでの時間を変更できます。

フッキング時間

電話機のキャッチボタン（フックボタン、フラッシュボタン）が正常に動作しない場合に認識時間を変更できます。

#機能ボタン使用

「#」を機能ボタンとして使用するかどうかを設定します。

外線/内線リング音

外線用、内線用のリング音を選択できます。リング音1は「リーン・リーン」、リング音2は「リンリン・リンリン」、リング音3は「リンリンリン・リンリンリン」です。

アナログポート1 / 2 情報

【操作】「詳細設定メニュー」 アナログ設定「アナログ1 / 2 情報」

アナログポート1情報 ISDN

このページでは、アナログポート1に関する情報を設定することができます。

[網契約関連設定](#)
[装置動作設定](#)
[発信規制情報設定](#)

[網契約に関連する設定項目] ?

ダイヤルイン番号	<input type="text"/>
グローバル着信	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
発信者番号通知	<input type="radio"/> する <input type="radio"/> しない <input type="radio"/> 網契約に従う
キャッチホン	<input type="radio"/> キャッチホン <input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 疑似キャッチホン

[装置の動作に関連する設定項目] ?

接続機器	<input checked="" type="radio"/> 電話 <input type="radio"/> FAX(キャッチホン着信) <input type="radio"/> モデム <input type="radio"/> FAX <input type="radio"/> FAX(無鳴動強制着信) <input type="radio"/> FAX(無鳴動識別着信) <input type="radio"/> なし
サブアドレス	<input type="text"/>
発信/着信選択	<input checked="" type="radio"/> 発信 <input type="radio"/> 発信のみ <input type="radio"/> 着信のみ
受話音量	<input checked="" type="radio"/> 小 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 大
リバースパルス送出	<input type="radio"/> 送出する <input checked="" type="radio"/> 送出しない
通話中着信音送出時間	0秒 <input type="text"/>
フレックスホン自動切替	<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない
通信前情報通知	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> モデム信号での通知 <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin: 2px;"> <input type="checkbox"/> ナンバー・ディスプレイを使用する <input type="checkbox"/> モデムダイヤルインを使用する 使用モード設定: <input type="text" value="モード1"/> </div> <input type="radio"/> PB信号での通知 アナログダイヤルインを使用する
キャッチホン・ディスプレイ	<input type="text" value="使用しない"/>

[発信規制情報設定] ?

外線発信を抑止する局番または電話番号	
<input type="text"/>	追加/削除
<input type="text"/>	追加
全削除	
外線発信を許可する局番または電話番号	
<input type="text"/>	追加/削除
<input type="text"/>	追加
全削除	

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

更新 キャンセル

[網契約に関連する設定項目]

ISDN回線加入契約の内容に関する情報を設定します。

ダイヤルイン番号

ダイヤルイン番号を32桁以内で設定します。

INSネット64の契約時にダイヤルインサービスを契約している場合は、ダイヤルイン番号を設定することにより、本装置背面のTEL1、TEL2に接続しているアナログ機器を呼び分けることができます。

ダイヤルイン番号をどれかのポートに割り振り、割り振った側の設定を行います。

ダイヤルインサービスの契約で、「グローバル着信利用を選択しない」場合は、契約者回線番号もダイヤルイン番号として利用できます。

INSネット64の契約内容（ダイヤルインサービス、グローバル着信利用）、本装置の設定内容（ダイヤルイン番号、グローバル着信）、および相手がダイヤルする番号によって着信条件が変わります。

グローバル着信

INSネット64契約の内容が以下のどちらかに該当し、相手が契約者回線番号をダイヤルする場合、この設定により、本装置背面のTEL1、TEL2に接続しているアナログ機器の呼出しを選択できます。

- ・ダイヤルインサービスを契約していない
- ・ダイヤルインで「グローバル着信利用」で契約している

する

呼出するポートには、“する”を設定します。

INSネット64の契約内容（ダイヤルインサービス、グローバル着信利用）、本装置の設定内容（ダイヤルイン番号、グローバル着信）、および相手がダイヤルする番号によって着信条件が変わります。

しない

グローバル着信しません。

こんな事に気をつけて

ダイヤルインサービスを契約していない場合は、グローバル着信を“する”にしてください。

発信者番号通知

発信者番号（契約者回線番号、ダイヤルイン番号、または鳴り分け番号）を着信者側に通知するサービスです。発信者はポートごとに通知するかしないか、または網契約内容に従うかを選択できます。

ダイヤルイン番号または鳴り分け番号を通知する場合は、「ダイヤルイン番号」に通知する電話番号を設定します。

する

発信者番号を相手に通知します。

しない

発信者番号を相手に通知しません。

網契約に従う

INS ネット 64 申込時の契約内容に従います。

キャッチホン

通話中に別の相手からの着信があると、その通話を保留して新しい相手と通話することができます。

キャッチホン

キャッチホンを使用します。

キャッチホンを使用するにはNTTと契約する必要があります。

使用しない

キャッチホンを使用しません。

疑似キャッチホン

フレックスホン未契約の場合は、“疑似キャッチホン”を選択すると疑似的にキャッチホンが使用できます。

接続機器でモデム / FAX を指定するポートには、通信を妨げないためにコールウェイティング動作は行いません。

[装置の動作に関連する設定項目]

本装置のアナログポート1（TEL1）につないだアナログ機器を利用する場合、その接続機器の動作に関する情報を設定します。

接続機器

アナログポート1に接続する機器を以下の中から選択します。

電話

電話を接続する場合に指定します。

FAX（キャッチホン着信）

電話つきFAXを接続し、発信時はFAXの動作、着信時は電話として動作する場合に指定します。

モデム

モデムを接続する場合に指定します。

FAX

FAXを接続する場合に指定します。

FAX（無鳴動強制着信）

無鳴動着信機能（FAXを受信するときに、着信音を鳴らさずに応答する機能）を備えたFAXを接続する場合に指定します。

FAX（無鳴動識別着信）

無鳴動着信機能を備えたFAXを接続する場合に指定します。相手がG3FAXの場合だけ無鳴動着信を行います。

なし

アナログポート1は使用できません。

サブアドレス

サブアドレスを半角英数字19文字以内で指定します。

サブアドレス番号を設定し、相手が発信するときに、そのサブアドレスを指定することで、本装置背面のTEL1、TEL2に接続しているアナログ機器を呼び分けることができます。

なお、相手がアナログ電話網から発信する場合は、サブアドレスが使用できないので、この指定による呼び分けは利用できません。

本装置のサブアドレス設定および、相手側のサブアドレスの利用状況によって着信条件が変わります。

発信 / 着信選択

該当するポートが発信専用 / 着信専用または発着信可能が指定します。

受話音量

該当するアナログポートの受話音量を指定します。

リバースパルス送出

該当するアナログポートでリバースパルス信号を送出するかどうかを選択します。リバースパルスは、外から電話がかかってきて通話中に相手から電話を切った場合に、通話が終了したことを通知する信号です。例えば、留守番電話で相手が切断すると同時にメッセージの録音を終了する機能を備えているときに有効です。

送出する

リバースパルス信号を送出します。

送出不しい

リバースパルス信号を送出しません。

通話中音送出時間

外線通話中に第三者から着信があると通話中に着信音が聞こえます。この通話中に着信音を送出し続ける時間を0～30秒の範囲で指定します。0を指定すると第三者が切断するまで送出し続けます。

なお、指定時間が経過し、通話中に着信音が聞こえなくなっても第三者が切断しなければ、フレッキングにより第三者と通話ができます。

フレックスホン自動切替

フレックスホンを利用して通話中に、話している相手が電話を切断した場合、自動的に保留になっている相手と通話できる機能です。

使用する

フレックスホン自動切替機能を使用します。

使用しない

フレックスホン自動切替機能を使用しません。

通信前情報通知

アナログポートでの通信（通話）を開始する前にアナログ通信機器に対して情報を通知する機能です。

使用しない

通信前情報通知機能を使用しません。

モデム信号での通知

ナンバー・ディスプレイ対応アナログ機器を使用している場合、“ナンバー・ディスプレイを使用する”をチェックすると、アナログ機器に相手番号を表示できます。NTTのナンバー・ディスプレイサービスを契約していない場合、アナログ電話網からの電話に関しては、相手番号は表示されません。また、相手側の契約内容により相手番号が表示されない場合もあります。

使用モード設定を“モード1”にして正常に動作しない場合は、“モード2”にします。

モデムダイヤルイン対応アナログ機器を使用している場合、“モデムダイヤルインを使用する”をチェックすると、電話やFAXなど機能ごとに個別の番号を持つことができます。着信したときに、モデム信号で相手電話番号を電話機に通知します。

使用モード設定を“モード1”にして正常に動作しない場合は、“モード2”にします。

PB信号での通知

アナログダイヤルイン対応アナログ機器を使用している場合、電話やFAXなど機能ごとに個別の番号を持つことができます。着信するときに、PB信号で相手電話番号を電話機に通知します。

キャッチホン・ディスプレイ

キャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器を使用している場合、「キャッチホン・ディスプレイ」の設定を「使用する(モード1)」にすることにより、アナログ通信機器に話中着信相手番号を表示することができます。

キャッチホン・ディスプレイ機能を使用している場合は、キャッチホンの設定を行う必要があります。

NTTのナンバー・ディスプレイサービスを契約していない場合、アナログ電話網からの電話に関しては、相手電話番号は表示されません。また、相手側の契約内容により相手電話番号が表示されない場合もあります。

「使用する(モード1)」で正常に動作しない場合は、「使用する(モード2)」、「使用する(モード3)」または「使用する(モード4)」にします。

[発信規制情報設定]

事前に登録した電話番号への外線発信が抑止できます。また、抑止した局番内の特定相手だけ外線発信を許可することもできます。現在、設定している発信規制情報の一覧です。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。

発信規制情報設定（発信抑止）

【操作】「詳細設定メニュー」 アナログ設定「アナログ1 / 2 情報」 [発信規制情報設定]

発信規制情報設定(アナログポート1)

[外線発信抑止番号設定] 

抑止番号

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

[外線発信抑止番号設定]

あらかじめ外線発信を抑止する局番や電話番号を登録しておきます。ポートごとに発信を抑止する番号を指定できます。

抑止番号

外線発信を抑止する番号を半角数字 32 桁以内で指定します。

発信規制情報設定（発信許可）

【操作】「詳細設定メニュー」 アナログ設定「アナログ1 / 2 情報」 [発信規制情報設定]

発信規制情報設定(アナログポート1)

[外線発信許可番号設定] 

許可番号

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

[外線発信許可番号設定]

あらかじめ外線発信を規制する局番や電話番号を登録しておきます。ポートごとに発信を許可する番号を指定できます。

許可番号

外線発信を許可する番号を半角数字32桁以内で指定します。

送出着信番号情報

【操作】「詳細設定メニュー」 アナログ設定「送出着信番号情報」

送出着信番号情報 **ISDN**

このページでは、アナログポートの送出着信番号を設定できます。

[送出着信番号情報] 

番号送出方法設定	<input checked="" type="radio"/> 網から通知された番号を送出する <input type="radio"/> 指定された番号を送出する
送出番号設定	・ 契約者番号での着信時 <input type="text"/>
	・ ポート1のダイヤルイン番号での着信時 <input type="text"/>
	・ ポート2のダイヤルイン番号での着信時 <input type="text"/>
	・ 鳴り分け番号1での着信時 <input type="text"/>
	・ 鳴り分け番号2での着信時 <input type="text"/>
	・ 鳴り分け番号3での着信時 <input type="text"/>

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

[送出着信番号情報]

モデムダイヤルイン、アナログダイヤルイン時に、接続機器に送出する着信番号について設定できます。

番号送出方法設定

接続機器に着信番号の送出する方法を設定できます。

送出番号設定

それぞれの着信番号ごとに、機器に送出する番号を20桁以内で指定できます。なお、アナログダイヤルイン時には、指定した番号の下4桁を送出します。

識別着信情報

【操作】「詳細設定メニュー」 アナログ設定「識別着信情報」

識別着信情報 ISDN

このページでは、アナログポートの識別着信情報を設定できます。
識別着信情報は最大10定義まで設定できます。

[識別着信共通情報] ?

識別着信 優先リング回数	5 回
識別リング音	<input type="radio"/> 相手電話番号識別 リング音3 ▼
	<input checked="" type="radio"/> 着信電話番号識別
	契約者番号 リング音1 ▼
	ポート1のダイヤルイン番号 リング音3 ▼
	ポート2のダイヤルイン番号 リング音3 ▼
	鳴り分け番号1 リング音1 ▼
	鳴り分け番号2 リング音2 ▼
鳴り分け番号3 リング音3 ▼	

[識別着信情報一覧] ?

識別定義名	相手電話番号	相手サブアドレス	動作モード	修正/削除
デフォルト定義			両ポート着信	修正
公衆電話着信			両ポート着信	修正
発信者番号非通知着信			両ポート着信	修正
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="全削除"/>				

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

[識別着信共通情報]

着信時に相手の発信者番号によって異なる着信時の呼び出し動作を指定できます。ここでは、識別着信情報の一覧にある相手先すべてに共通する動作を設定します。

識別着信優先リング回数

優先ポートとして指定したポートだけ呼び出すリングの回数を指定します。指定回数呼び出しても受話器を取らない場合は、両ポートの呼び出しを行います。

1～10の範囲で設定できます。

4

識別着信情報 237

識別リング音

識別着信用のリング音を選択できます。リング音1は「リーン・リーン」、リング音2は「リンリン・リンリン」、リング音3は「リンリンリン・リンリンリン」です。

「相手電話番号識別」を選択する場合は、「識別着信情報一覧」で定義した相手から着信かどうかを識別し、選択したリング音で鳴動します。「着信電話番号識別」を選択する場合は、着信する番号を識別し、選択するリング音で鳴動します。

[識別着信情報一覧]

現在、設定している識別着信情報の一覧です。定義はデフォルト定義、公衆電話着信、発信者番号非通知着信と、それ以外に10個まで設定できます。行う処理のボタンをクリックし、次のページに進みます。

デフォルト定義

識別着信情報で、相手先に設定されていない相手からかかってきた電話の着信時の動作を指定します。

公衆電話着信

公衆電話からかかってきた電話の着信時の動作を指定します。

発信者番号非通知着信

発信者番号を通知してこない電話の着信時の動作を指定します。

識別着信情報設定（デフォルト定義）

【操作】「詳細設定メニュー」 アナログ設定「識別着信情報」 [識別着信情報一覧]

識別着信情報設定

[識別着信情報] 

動作モード

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

[識別着信情報]

デフォルト定義には、相手先に設定していない相手からの着信の場合の動作を指定します。

動作モード

相手先に設定していない相手からの着信があるときの動作を指定します。

4

識別着信情報設定（公衆電話着信）

【操作】「詳細設定メニュー」 アナログ設定「識別着信情報」 [識別着信情報一覧]

識別着信情報設定

[公衆電話着信情報] 

動作モード

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

[識別着信情報]

公衆電話着信には、公衆電話からの着信の場合の動作を指定します。

動作モード

公衆電話からの着信があるときの動作を指定します。

識別着信情報設定（発信者番号非通知着信）

【操作】「詳細設定メニュー」 アナログ設定「識別着信情報」 [識別着信情報一覧]

識別着信情報設定

[発信者番号非通知着信情報] 

動作モード

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

[識別着信情報]

発信者番号非通知には、相手から発信者番号が通知されない場合の動作を指定します。公衆電話からの着信は、発信者番号非通知着信に含まれません。

動作モード

発信者番号非通知の着信があるときの動作を指定します。

識別着信情報設定

【操作】「詳細設定メニュー」 アナログ設定「識別着信情報」 [識別着信情報一覧]

識別着信情報設定

[識別着信情報] 

識別定義名	<input type="text"/>
相手電話番号	<input type="text"/>
相手サブアドレス	<input type="text"/>
動作モード	<input type="text" value="両ポート着信"/>

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

[識別着信情報]

相手電話番号および相手サブアドレスをキーとして相手を特定し、着信時の呼び出し動作を変えることができます。

相手先の定義は10個まで指定します。(識別着信用リング音で呼び出します)

識別定義名

登録する識別着信情報の名称を半角英数字16文字以内で設定します。

相手電話番号

登録する相手の電話番号を市外局番から半角数字32桁以内で指定します。

相手サブアドレス

必要に応じて、着信相手を識別するためのサブアドレスを半角英数字19文字以内で指定します。

動作モード

該当相手からの着信があった時の動作を指定します。

こんな事に気をつけて

利用するには、NTTのナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。ただし、相手の方がINSネット64から発信者番号を通知して電話をかけて来た場合は未契約の場合でも利用できません。